

【基本施策1】(番号1～49、48事業)

番号	種類	分野	生涯学習プラン基本施策・施策の展開	未来デザイン2040 都市像・基本施策		事業名	事業目的・内容	令和5年度 実績					令和5年度の目標および評価				令和6年度 目標設定					令和5年度 予算 (千円)	令和5年度 決算 (千円)	令和6年度 予算 (千円)	令和6年度 担当課 (実施主体)
				対象者	回数			参加者数 (人)等	実施形態	実施方法	令和5年度の実施状況や 昨年度との比較・変更点、 参加者の声	指標 評価	令和5年度目標 値	目標値に 対する 実績値	評価	令和6年度目標値	方向性	令和6年度の 課題と方向 廃止・休止の場合はその理由							
				NO	施策名	No	基本施策																		
1	講座・教室	教養的なもの	001	子どもたちが体験できる機会の充実	3-1	全ての子どもが健やかに育つ地域づくり	自然体験・自然観察会 本市の特長でもある豊かな自然を活かし、市民を対象とした自然観察会を行う。	どなたでも	4	108名 (ホタル:46名、秋:26名、星空:19名、冬:17名)	共催	対面実施	秋、冬の自然観察会では、ナラ枯れによる倒木の危険を考慮し、安全なルートに変更して実施した。	利参加者数等・利用者数・	90名	108名	A	90名	取組の継続	引き続き市民に身近な自然と触れ合う機会を提供する。	30	30	30	学習支援課	
2	講座・教室	青少年育成・体験活動	001	子どもたちが体験できる機会の充実	3-1	全ての子どもが健やかに育つ地域づくり	出張体験講座 市内小学校に講師を派遣して、子どもたちに多様な体験型講座を実施する。	子ども	21	1,129	委託	対面実施	令和5年度は25種類の講座を用意し、開催回数は21回と昨年度の実施状況を維持している。	実事・業の拡大再構築・充	15回 (子どもたちが、多様な体験を行える機会の維持)	21回	A	15回	取組の継続	従来の実施手法であるNPO法人八王子生涯学習コーディネーター会への事業委託を引き続き実施しつつ、新たに講師と放課後子ども教室実施団体が直接連携し、各教室において講座をさらに展開できるような枠組みを構築する。	2,282	955	2,183	放課後児童支援課 (NPO法人八王子生涯学習コーディネーター会)	
3	講座・教室	子育て	001	子どもたちが体験できる機会の充実	3-1	全ての子どもが健やかに育つ地域づくり	赤ちゃんふれあい事業 八南助産師会によるいのちの講義や妊婦ジャケット等を使用した体験、妊婦や乳幼児親子と直接ふれあう体験をとおして、次代を担う思春期の中学生が、命の大切さや妊娠・出産に関する知識を学び、豊かな人間性を育む。 市内の中学校と地域の関連機関が連携して、中学生が乳幼児や妊婦とふれあう機会を提供し、命の大切さを再認識するとともに、自尊感情を育む。	子ども	35回	35校	委託	どちらも実施	妊婦や乳幼児親子の安全・安心を確保するため、実会場での妊婦や乳幼児親子の参加は見合わせ、交流を希望する全校でオンラインを活用した妊婦や乳幼児親子との交流を実施した。	事業の再構築・充実・拡大等	すべての公立中学校(38校)での実施	35校	A	すべての公立中学校(39校※第五中学校夜間学級含む)での実施	取組の継続	流行性疾患の市内感染状況を見て、実会場でのふれあい交流を再開時期や実施方法について検討する。	3,749	3,275	3,848	子どものしあわせ課	
4	イベント等	趣味的なもの	001	子どもたちが体験できる機会の充実	3-1	全ての子どもが健やかに育つ地域づくり	子ども体験塾「トイトイ オークストラ!」 子どもたちに、身近な場所で優れた文化や芸術を鑑賞する感動体験を提供し、音楽への興味と豊かな感性を育む。 オーケストラを実際に鑑賞する機会の少ない子どもたちに、迫力ある生の演奏を体感する機会を提供し、音楽への興味と豊かな感性を育む。	親子・保護者	1回	1352人	実行委員会	対面実施	体験プログラムに、当日ステージ上でオーケストラの演奏を鑑賞できる「ステージ上鑑賞体験」を追加する等、体験機会の充実にも取り組んだ。	参加者の満足度	アンケートで5段階評価を行い、「大変良かった」または「良かった」の合計割合を、80%以上	アンケートで5段階評価を行い、「大変良かった」または「良かった」の合計割合は98%であり、目標を達成した。	A	アンケートで5段階評価を行い、「大変良かった」または「良かった」の合計割合を、80%以上	取組の継続	体験プログラムの内容を検討し、体験機会のさらなる充実を図る。	0	0	0	子どものしあわせ課	
5	イベント等	教養的なもの	001	子どもたちが体験できる機会の充実	6-1	一人ひとりが考え、ともに守る環境	八王子浅川水辺の楽校 生きものの採集やポートでの川遊びなどの体験活動を通じて、環境教育の充実を図るとともに、環境を大切にすることと行動力を育てる。 ・ウグイ・アユの放流 ・八王子浅川ガサガサ探検隊 ・水辺のかんきょう教室 ・浅川河川清掃&野鳥観察	子ども	7回	457人	実行委員会	対面実施	7月30日に実施したガサガサ探検隊には、117人の方に参加いただいた。アンケートでは、96%の回答者が「とても満足・満足」と回答していることから、多くの方に楽しんでもいただけたと受け取っています。	利参加者数等・利用者数・	参加者数680人	参加者数457人	B	参加者数 500人	改善・見直しの実施	令和6年度は、これまでと異なったイベントを実施する予定である。 役員の高齢化。	250	163	250	水環境整備課(八王子浅川水辺の楽校運営協議会)	
6	講座・教室	教養的なもの	002	子どもたちに向けた各種講座・教室の充実	3-3	学びを活かせる生涯学習の推進	八王子「宇宙の学校」 小学校低学年の子と親の絆を強め、地域が協力して子どもを育む仕組みづくりを行う。 宇宙に関連する様々な素材・身近な教材を活用し、子どもたちの心にある好奇心、冒険心、匠の心を育成する。 小学校1年生から3年生を対象に、実験工作に取り組むスクーリングと家庭学習を組み合わせた教育プログラムに基づき、子供たちの心に「好奇心」「冒険心」「匠の心」を育んでいくことを目的に宇宙教育を行う。また、事業は、市民や学生ボランティア等との協働により進めている。	子ども	8	632	実行委員会	対面実施	新型コロナウイルス感染症の取扱いの緩和により、令和4年度より参加者数、回数を増やして実施。また、東京工業高等専門学校との連携により、実施会場を変更した。	参加者の満足度	アンケート集計結果における満足度90%以上	アンケート集計結果における満足度95%以上	A	アンケート集計結果における満足度90%以上	取組の継続	参加者数を増加させて実施。今後、ボランティアの高齢化等に伴うボランティア参加者の減少が見込まれるため、運営の方法の再検討も必要。	1,000	714	800	こども科学館(宇宙の学校実行委員会)	
7	講座・教室	青少年育成・体験活動	002	子どもたちに向けた各種講座・教室の充実	3-2	未来をひらく子どもを育てる教育	青少年講座 子どもたちに社会体験、職業体験、伝統文化体験をはじめとする多様な体験学習の場を提供し、自発的・主体的な青少年を育成する。 子どもたちに社会体験、職業体験、伝統文化体験をはじめとする多様な体験学習の場を提供し、自発的・主体的な学習活動の基礎をつくる。	子ども	19	284	市単独	対面実施	3館合計19講座を開催し、284名が参加した。(参考:令和4年度は22講座、247名参加)	参加者の満足度	満足度90%以上	83.3%	A	満足度90%以上	取組の継続	講座を実施し、子どもたちに多様な体験学習の場を提供していく。	588	307	347	学習支援課	
8	講座・教室	健康・スポーツ	002	子どもたちに向けた各種講座・教室の充実	3-3	学びを活かせる生涯学習の推進	ジュニア育成事業 トップアスリートが直接指導する各種スポーツ教室を開催し、子どもたちの競技力の向上と、スポーツ人材の育成を図る。 トップアスリートが直接指導する各種スポーツ教室を開催し、子どもたちの競技力と意識の向上を図る。	—	—	—	委託	—	指定管理者、地域団体等がジュニア育成事業を積極的に実施しているため、実施せず。	等者参加者数・者数・利用者数・件数・利用数	—	—	評価なし	—	廃止・休止	指定管理者、地域団体等がジュニア育成事業を積極的に実施しているため。	0	0	0	スポーツ振興課	

[illegible]

【基本施策1】(番号1～49、48事業)

番号	種類	分野	生涯学習プラン基本施策・施策の展開		未来デザイン2040 都市像・基本施策		事業名	事業目的・内容	令和5年度 実績					令和5年度の目標および評価				令和6年度 目標設定					令和5年度 予算 (千円)	令和5年度 決算 (千円)	令和6年度 予算 (千円)	令和6年度 担当課 (実施主体)
									対象者	回数	参加者数 (人)等	実施形態	実施方法	令和5年度の実施状況や 昨年度との比較・変更点、 参加者の声	指標 評価	令和5年度目 標値	目標値に 対する 実績値	評価	令和6年度目標値	方向性	令和6年度の 課題と方向 廃止・休止の場合はその理由					
			NO	施策名	No	基本施策																				
16	講座・教室	教養的なもの	004	人生を豊かにする多様な講座の提供	3-3	学びを活かせる生涯学習の推進	八王子学園都市大学(いちょう塾)	市民が意欲をもって学ぶことができる場を提供する。大学等の高度で専門的な学習機会を継続的に提供し、市民の生きがいづくりやまちの活性化に貢献することを目指す。	成年	287	5,186	委託	どちらも実施	公開講座の数が51講座へと増え、そのうち8講座でオンデマンド配信を行った。(予定1講座を含む)また、日本遺産フェスティバル関連講座、リカレント講座として現役テレビ局局員によるコミュニケーションの内容の講座を実施した。一般講座では久しぶりに陶芸の講座の提供が復活した。	参加者の満足度	95%以上	前期一般講座71.6% 後期一般講座65.2%	B	95%以上	取組の継続	一般講座、公開講座合わせて年間300講座を目標に開催する。オンデマンド講座の数は、昨年比+2講座となる。	57,050	56,606	57,254	学園都市文化課(学園都市文化ふれあい財団・学園都市振興課)	
17	講座・教室	家庭生活	004	人生を豊かにする多様な講座の提供	2-1	誰もが心豊かに暮らせる市民生活の推進	消費生活講座・講演会	消費者の自立を支援するため消費生活に関する学習の機会を提供する。 自立し、自ら行動する消費者市民を育むため、各種消費生活講座・講演会等を開催し、消費者への啓発を図る。	どなたでも	①都共催講座1回(共催・対面) ②月間講演会1回(共催・対面) ③消費生活講座4回(市単独・対面)	①38 ②41 ③153	共催	対面実施	令和5年度より東京都による新プロジェクト「TOKYOエシカル」にパートナーとして参加し、本格的にエシカル消費の啓発活動をスタートさせた。	参加者の満足度	参加者の90%以上が高評価	95%	A	各回の募集人数の90%以上の参加率	取組の継続	【課題】消費生活に関する情報を多くの市民に効果的に伝え、一人ひとりが消費者市民社会の実現に向けての意識を持つこと。 【方向】消費者被害防止のための内容の講座や、自らの消費行動が与える地球環境への影響などの興味や関心を深めるための講座を実施する。	66	42	38	消費生活センター	
18	講座・教室	教養的なもの	005	郷土の歴史や文化財に親しむ	3-4	未来につながる文化の継承と創造	郷土資料館講座・体験学習	郷土の歴史や文化への関心を高めると共に理解を深める。 郷土の歴史や文化財への関心を高めるような講座及び体験学習を実施する。	どなたでも	9回	342人	市単独	対面実施	姉妹都市盟約締結50周年記念として実施した「八王子のまちの歴史と千人同心」など講座を7件実施した。また、体験学習は「まが玉づくり」など3件開催した。	件参加者数・利用者数・利用	参加者125人以上	342人	A	参加者125人以上	取組の継続	郷土の歴史や文化財への関心を高められるよう、企画展に関連付けるなど興味を引ける方法で、引き続き実施する。	12	363	243	文化財課(郷土資料館)	
19	講座・教室	教養的なもの	005	郷土の歴史や文化財に親しむ	3-4	未来につながる文化の継承と創造	文化財見て歩き	郷土の歴史や文化に親しみ、理解を深めるため、地域の文化財を市民に紹介しながら巡る。	どなたでも	2回	79人	市単独	対面実施	令和4年度より実施回数を増やし、歴史文化や身近な地域について学ぶ機会を提供した。	参加者の満足度	参加者の7割以上が「満足」と回答	参加者の9割以上が「大変満足」「満足」と回答	A	参加者の7割以上が「満足」と回答	取組の継続	市民が本市の歴史文花や身近な地域について学び、郷土に対する愛着と理解を深める機会を提供する。	5	4	6	文化財課	
20	イベント等	教養的なもの	005	郷土の歴史や文化財に親しむ	3-4	未来につながる文化の継承と創造	八王子車人形と民俗芸能の公演	八王子車人形や説経節(説経浄瑠璃)・獅子舞・木遣などの公演を通して、市固有の伝統芸能への興味を深めるとともに、伝統芸能の継承について理解と関心を高める。	どなたでも	1回	397人	委託	対面実施	八王子市の伝統芸能に触れる機会の少ない地域の方に興味関心を高めてもらうため、会場をJ:COMホールから南大沢文化開館に変更し開催した。	数参加者数・利用者数・利用件	参加者500人	参加者397人	B	参加者500人	取組の継続	会場の収容人数の都合上、令和5年度目標値の参加者500人には満たなかったが、これまで伝統芸能を見たことがなかった人に来場いただくなど、伝統芸能に対する興味関心を高めることができた。令和6年度はJ:COMホールで開催予定のため、より多くの方へ伝統芸能への興味を深めるとともに、伝統芸能の継承について理解と関心を高める機会とする。	1,582	1,582	1,593	文化財課	
21	イベント等	教養的なもの	006	文化芸術に触れる	3-4	未来につながる文化の継承と創造	八王子市民文化祭	市民による文化活動の発表と市民への鑑賞の機会を提供し、市民文化の振興を図る。	どなたでも	30	参加者数2,290 来場者数12,778	共催	対面実施	昨年開催した実績から参加者数及び来場者は増加した。既存の周知方法に加えて、HPやWEBメディアへ掲載するなど新たな周知方法を取り入れることで、市民による文化活動の発表と市民への鑑賞の機会を提供し、市民文化の振興を図ることができている。	数参加者数・利用者数・利用件	参加者・来場者数の増(令和4年度:参加者1,668人、来場者数9,665人)	参加者数2,290 来場者数12,778	A	参加者・来場者数の増	参加者、来場者数は増加傾向に転じており、コロナ禍前の実績に近づいている。SNS等の活用など周知方法を見直して、幅広い世代の市民が参加できるよう、市民による文化活動の発表と市民への鑑賞の機会を提供し、市民文化の振興を図っていきたい。	6,010	6,025	6,021	学園都市文化課		
22	イベント等	教養的なもの	006	文化芸術に触れる	3-4	未来につながる文化の継承と創造	八王子コミュニティオペラ	・市民に身近な場所で、質の高い優れた芸術や文化を鑑賞・参加体験する機会を提供する。 ・プロやセミプロを目指す若手演奏家を育成するため、オーディションを実施し、若手演奏家に実演の機会を提供する。 市民に身近な場所でオペラ合唱を学ぶ機会を提供し、文化芸術への市民参加の普及を促進する。	どなたでも	—	—	—	—	出演者の日程不調及び本公演の計画変更により中止となった。	利参加者数等・利用者数・	参加者200名(10回)	0	評価なし	参加者200名(10回)	改善・見直しの実施	新型コロナウイルスの影響で令和元年度を最後に休止していたが、令和7年の本公演開催を目指し、令和6年度はそれに向けワークショップを再開する。	3,659	0	3,139	学園都市文化課(学園都市文化ふれあい財団・芸術文化振興課)	

【基本施策1】(番号1～49、48事業)

番号	種類	分野	生涯学習プラン基本施策・施策の展開		未来デザイン2040 都市像・基本施策		事業名	事業目的・内容	令和5年度 実績					令和5年度の目標および評価				令和6年度 目標設定				令和5年度 予算 (千円)	令和5年度 決算 (千円)	令和6年度 予算 (千円)	令和6年度 担当課 (実施主体)
									対象者	回数	参加者数 (人)等	実施形態	実施方法	令和5年度の実施状況や 昨年度との比較・変更点、 参加者の声	指標 評価	令和5年度目標 値	目標値に 対する 実績値	評価	令和6年度目標値	方向性	令和6年度の 課題と方向 廃止・休止の場合はその理由				
			NO	施策名	No	基本施策																			
23	その他	子育て	007	読書のまち八王子の推進	3-1	全ての子どもが健やかに育つ地域づくり	乳幼児の読書活動支援	乳幼児から読書にふれる機会を提供することにより、読書習慣の啓発を図る。 ブックスタート事業など、発達段階に応じた切れ目ない読書活動の支援を行う。	乳幼児	【ブックスタート】72回 【おはなし会】158回	【ブックスタート】2,644人 【出張利用者登録】1,018人 【おはなし会】2,321人	市単独	対面実施	【ブックスタート】コロナ禍よりセットの配付のみの実施としていたが、読み聞かせの次年度再開に向けた調整を行った。また、出張型の利用者登録を実施し、図書館利用の促進を図った。 【おはなし会】図書館主催と協力団体との協働による2種類で実施した。	数参加者数・利用者数・利用件	【ブックスタートの参加者数】2,647人 【出張型利用者登録数】1,117人 【おはなし会参加者数】1,549人	【ブックスタート】2,644人 【出張利用者登録】1,018人 【おはなし会】2,321人	A	【ブックスタート】2,590人 【おはなし会】2,100人	取組の継続	【ブックスタート】令和6年度から対面読み聞かせを再開する。各保健福祉センターと連携し、ボランティアスタッフとの協力による実施を安定化させる。 【おはなし会】対象年齢に応じて内容や会場を工夫し、子どもたちの図書館や本、人との出会いを促進する。 【出張利用者登録】読み聞かせ再開により現地で行う方法が難しいため、オンラインでの登録を検討する。	2,197	2,016	2,863	図書館課
24	イベント等	趣味的なもの	007	読書のまち八王子の推進	3-3	学びを活かせる生涯学習の推進	本のPOPコンテスト(R2までは「読書感想画・読書感想文コンクール」を実施)	POP作りを通して、より主体的に読書体験を通じた感動を表現し、豊かな人間性を育むと共に、読書習慣の習得・読書活動の振興を図る。 子どもたちが読書に親しむことを目的に、市内在住の小学生～大学生を対象に、本のPOPコンテストを開催した。	若者	-	応募数3,141点	市単独	—	前年度からの変更点として、小学校の部を2部門から3部門と細かくしたことで各学年の受賞の枠を広げた。 また、夏季休暇時期の8月に応募のきっかけづくりとして「本のPOPの作り方講座」を開催し、定員を超える参加があり、アンケートの回答からも大変好評であった。	利参加者数等・利用者数・	前年度(3,201点)を上回る応募作品数	3,141点	A	前年度(3,141点)を上回る応募作品数	取組の継続	引き続き実施し、「本のPOP生徒・学生の読書習慣の習得・読書活動の振興をはかっていく。	71	71	90	図書館課
25	その他	社会貢献活動	007	読書のまち八王子の推進	3-2	未来をひらく子どもを育てる教育	地域の学校との連携活動	図書館業務を体験し、理解していただくことにより、図書館の魅力を伝えるとともに利用についての普及啓発を図る。 職場体験や選書体験等を通じて、子どもたちに図書館の機能や魅力を伝えるとともに、図書館に対する意見等を聞くことで図書館ニーズを把握し、利用促進につなげる。	子ども(保護者含む)	77	【施設見学小学生】2,014人 【職場体験(中学生)】62人 【南多摩中(児童や保護者を含む)】116人 【南大沢学園】36人	市単独	対面実施	【施設見学】7館 48回 2,014人 【職場体験】7館 22回 62人 【南多摩中】2回 116人 ※フィールドワークは学校司書と連携し、事前にテーマを決めるなど効率よく行うことができた。また、ブックトークにあたっては、受験を考える児童(小5～6年生)や保護者も参加できる形式で開催し50人の参加があった。 【南大沢学園】5回 36人 南大沢図書館では南大沢学園と連携し、授業として司書が本の修理や読み聞かせを指導した。(修理4回16人、読み聞かせ1回20人)	参加者数・利用者数・利用件数等	参加者数1,000人	参加者数2,228人	A	参加者数1,940人	取組の継続	地域の学校との連携は子どもの読書活動推進にも重要なものと考えており、小学校児童の施設見学、中学校生徒の職場体験、南多摩中のフィールドワーク受け入れやブックトーク、南大沢学園との連携事業の実施について、積極的に行っていきたい。 (令和6年度は川口館が休館のため目標値を修正)	—	—	—	図書館課
26	講座・教室	教養的なもの	007	読書のまち八王子の推進	3-3	学びを活かせる生涯学習の推進	八王子千人塾	高齢者が図書館を使った調査法などを学ぶ講座で、交流を図りながら興味を持続けることで、生きがいづくりを創出する。 中央図書館が毎年開催する60歳以上の市民を対象とした生涯学習支援事業。図書館の使い方・資料検索方法・論文の書き方等の講座を開催している。	シニア	1	10	共催	対面実施	講座日数を5日間と1日増やしカリキュラムを充実させた昨年度と同様の内容で開催した。修了者が講師を務めるなど学び直しが知の循環につながっている。 生涯にわたっての調べ学習やグループ活動は生きがいという意見も多く、修了者は多くないものの自主グループへの加入率は高い結果となった。	用参加者数等・利用者数・利	講座修了者10人	8	A	講座修了者10人	取組の継続	講座修了者の自主グループ「塾生の会」と連携しながら内容の充実を図るとともに、修了後も調べ学習が継続できる環境を提供する。また、令和6年度事業開始20年の節目にあたるため、これまでの学習成果を振り返る機会をつくり今後の活動促進に役立てる。	—	—	—	図書館課
27	その他	教養的なもの	007	読書のまち八王子の推進	3-3	学びを活かせる生涯学習の推進	図書館おすすめの“ぶっくばっく”	普段は手に取らない新たな本との出会いを提供し、気になるテーマの本について市民の読書活動の質の向上を図る。 普段は手に取らない新たな本との出会いを提供し、市民の読書活動の質の向上を図るため、図書館司書が選んだ本を3～5冊にバック化し、お楽しみバックとして貸し出す事業。	どなたでも	通年実施	【全館合計貸出冊数】2,578冊	市単独	対面実施	コロナ禍における読書ニーズに対応するため、季節に応じたイベントとして実施するなど、地域の特性も踏まえ、各館で実施時期や実施方法を工夫して実施した。	その他	【全館合計貸出冊数】2,661冊	【全館合計貸出冊数】2,578冊	A	【全館合計貸出冊数】2,578冊	取組の継続	新型コロナウイルスの影響も落ち着き、書架を自由に見て回れることが当たり前となって来たなかで、あえて「ぶっくばっく」を借りる誘因をいかに作るか、イベント性等を工夫していく。	—	—	—	図書館課
28	情報提供・環境整備	教養的なもの	007	読書のまち八王子の推進	3-3	学びを活かせる生涯学習の推進	新たな読書空間“パークライブラリー”	ポストコロナにおける身近な読書環境を整備するとともに、読書の普及啓発や図書館情報の効果的な発信を行い、地域の情報拠点として地域コミュニティの活性化に寄与する。公園を活用した新たな読書空間を演出することにより新たな利用者層を開拓する。	どなたでも	中央：1回 南大沢：2回 川口：1回	中央：陵南公園338人(新規) 南大沢：春の小山内裏公園281人、秋の長池公園400人	市単独	対面実施	中央：令和5年度より開始(前年度は雨天中止)公園内のイベントと合わせ開催した。 南大沢：例年と同じく春は小山内裏公園、秋は長池公園で実施。事業の定着感あり。 川口：11月のやまゆり館まつりに合わせた1回。地域に密着したイベントになっている。	普及・啓発等	年4回の実施	中央：1回 南大沢：2回 川口：1回	A	中央：年1回の実施 南大沢：年2回の実施 川口：実施せず(工事休館のため)	取組の継続	中央：公園内の自然とコラボした関連図書の紹介など、図書館内では体験できない新たな読書機会を創出する。 南大沢：規模の縮小化により機動力を高める。 川口：大規模改修工事に伴う休館のため、実施しない。	—	—	—	図書館課

【基本施策1】(番号1～49、48事業)

番号	種類	分野	生涯学習プラン基本施策・施策の展開		未来デザイン2040 都市像・基本施策		事業名	事業目的・内容	対象者	回数	参加者数 (人)等	実施形態	実施方法	令和5年度の実施状況や 昨年度との比較・変更点、 参加者の声	指標 評価	令和5年度の目標および評価			令和6年度 目標設定			令和5年度 予算 (千円)	令和5年度 決算 (千円)	令和6年度 予算 (千円)	令和6年度 担当課 (実施主体)
			NO	施策名	No	基本施策										令和5年度目標値	目標値に 対する 実績値	評価	令和6年度目標値	方向性	令和6年度の 課題と方向 廃止・休止の場合はその理由				
29	その他	教養的なもの	007	読書のまち八王子の推進	3-3	学びを活かせる生涯学習の推進	非来館型サービスの拡充	新型コロナウイルス感染拡大防止や、その他の理由により図書館に来館できなくても図書館サービスの提供を受けられるよう普及啓発を図る。 電子書籍・Webサービスの拡充や非来館型利用者登録の実施により、図書館に来館せずに、図書館利用者登録や読書ができる環境を整備し、「新しい生活様式」における身近な読書環境の整備を図る。	どなたでも	—	【電子書籍貸出数】52,390回 【タイトル数】16,582点(うち読み放題コンテンツ(書籍)399点) 【閲覧数】299,600回	市単独	オンライン実施	電子書籍サービスを継続し、身近な読書環境の整備に努めた。4月より図書館・学校図書館システムの連携を活用し、児童生徒の学校図書館IDで電子書籍を借りられる環境を整備した。複数利用者が同時に利用できる電子書籍を導入した。	参加者数・利用者数・利用件数等	前年度(貸出数35,518回、タイトル数16,261点、閲覧数118,757点)を上回る利用状況	【電子書籍貸出数】52,390回 【タイトル数】16,582点(うち読み放題コンテンツ(書籍)399点) 【閲覧数】299,600回	A	令和5年度の【電子書籍貸出数】52,390回【閲覧数】299,600回を超える。	改善・見直しの実施	引き続き、ホームページ等、また、学校図書館との連携を通じ、電子書籍利用のPRに努め、利用促進を図る。	7,000	7,733	7,000	図書館課
30	講座・教室	健康・スポーツ	008	スポーツ・レクリエーションに親しむ機会の充実	3-3	学びを活かせる生涯学習の推進	ネオテニス教室	親子参加型のスポーツの場を提供し、八王子市発祥のニュースポーツ「ネオテニス」の普及啓発を図る。	小学校3年生以上	1	40(延158)	市単独	対面実施	昨年度と比較して、参加者数が増加。全6回の教室を通して、初心者を中心に上達が見られ、参加者からも好評であった。	数・参加者数・利用者数・利用件数・数等	60	40(延158)	B	60	取組の継続	参加者が増加するよう、広報における周知を例年よりも早く行う。(例年は5月15日号、令和6年度は5月1日号)	13	13	30	スポーツ振興課
31	イベント等	健康・スポーツ	008	スポーツ・レクリエーションに親しむ機会の充実	3-3	学びを活かせる生涯学習の推進	ヘルシーウォーキング	市内の名所や自然を感じる施設を巡るウォーキング大会。本事業により、市民の体力、健康増進意識の向上を図る。	どなたでも	1	503	委託	対面実施	日本遺産認定ストーリーの構成文化財をコース上に設定。昨年度と比較して、参加者が増加。参加者から、概ね満足したとの回答が得られた。	等者参加者数・利用者数・利用件数・利用件数	500人	503	A	700	取組の継続	健康フェスタ(所管は保健総務課)と同日に開催し、双方のチラシに掲載することで周知の相乗効果を図る。広報5月1日号にて、健康フェスタと同ページにて掲載。	570	495	624	スポーツ振興課
32	講座・教室	健康・スポーツ	008	スポーツ・レクリエーションに親しむ機会の充実	3-3	学びを活かせる生涯学習の推進	夏山登山入門	スポーツ・レクリエーションの普及と市民の体力向上を図るため、市内の団体と協働で登山に必要な知識を身に付ける講習会を開催する。	高校生以上	1	25	共催	対面実施	講義回数は減らしたままだが、実技の場所をコロナ禍前の会場へ戻し、実施した。	等者参加者数・利用者数・利用件数・利用件数	50人	25	B	—	廃止・休止	共催相手の主管団体が解散したため。	-	-	-	スポーツ振興課
33	イベント等	健康・スポーツ	008	スポーツ・レクリエーションに親しむ機会の充実	3-3	学びを活かせる生涯学習の推進	ふれあい運動会	運動会をとおして、障害のある人もない人も共に楽しみ理解を深めあうことにより、ノーマライゼーションの意識の普及を図る。 障害者や支援者・ボランティアなどが自主的に運動会を企画・運営し、障害のある人となない人との交流と障害に関する理解を促進する。	障害者	1	750	実行委員会	対面実施	コロナ禍が明け、4年ぶりの開催となった。競技はもちろんのこと、アトラクションは参加者全員が楽しめる内容を考えた。補助金に頼らない運営を目指し、協賛活動を積極的に行った。	利参加者数・利用者数・利用件数・利用件数	参加団体目標40団体	参加・協力団体36団体	A	参加・協力団体目標40団体	取組の継続	コロナ禍が明け、参加団体が減少傾向にあることから、会を運営する実行委員の人数が減少している。これ以上の減少がないよう、市内の福祉施設・団体に積極的に参加を呼びかけていく	800	800	800	障害者福祉課
34	情報提供・環境整備	仕事に必要な取得知識技能、資格	009	社会人の学び直しの支援(リカレント教育)	3-3	学びを活かせる生涯学習の推進	社会人の学び直し情報の提供	リカレント(学び直し)の推進 社会人が学び直しをする際に必要となる情報を、関連する所管や機関、大学等と連携して集め、提供する。	どなたでも	-	-	市単独	—	市の実施する講座、学園都市大学いちょう塾の講座、大学公開講座、都立高校の公開講座、放送大学、職業訓練学校の情報を発信した。また、より使いやすいアプリとなるよう、外部リンクやメニュー構成等の工夫・改善を行った。	普及・啓発等	・アプリの継続的かつ効果的な運用。 ・アプリの新規ダウンロード数300以上。	継続的にアプリを運用し、600以上(3月分未集計)の新規ダウンロードがあった。	A	・アプリの継続的かつ効果的な運用。 ・アプリの新規ダウンロード数500以上。	取組の継続	利用者が欲しい情報に容易に辿り着くことができるよう、引き続きメニュー構成等について工夫・改善を行い、継続的かつ効果的にアプリを運用していく。	396	396	396	学習支援課
35	講座・教室	仕事に必要な取得知識技能、資格	009	社会人の学び直しの支援(リカレント教育)	5-2	まちの活力を創出する産業	本気の創業塾	創業に必要な経営ノウハウ等を学ぶ機会及び経営者としての覚悟、気づきを得る機会を創出するとともに、同じ志を持つ者のネットワーク構築を図る。 市と商工会議所が共同で運営するサイバーシルクロード八王子において、八王子で創業したい人を対象に創業に必要な基礎知識を学ぶ機会を提供する。	どなたでも	6	18	共催	対面実施	回数や内容に大きな変更はなかったが、昨年度に比べ参加者も1名増加し、また参加者からもおむね好評の声を得た。	その他	受講生:25人 創業者:7人	受講生:18人 創業者:6人	A	受講生:20人 創業者:7人	取組の継続	引き続き創業希望者及び創業間もない方に対し、創業に必要な知識の修得及び創業者同士のネットワーク形成を目的として全6回の講義及びフォローアップを実施する。実施にあたっては、引き続き市と商工会議所が共同で運営するサイバーシルクロード八王子において実施する。	784	784	735	産業振興推進課
36	講座・教室	情報端末に関するもの	010	障害のある人の生涯にわたる多様な学びの支援	2-2	誰もが生きがいをもち安心できる地域づくり	パソコン・タブレット教室	障害者の情報収集手段としてIT機器を有効活用ができるよう、障害別に有用なアプリや使用方法について紹介し、日常生活の向上を図る。障害によって会場まで行くことができない人を対象に、訪問相談を実施する。	障害者	104	947	指定管理者	対面実施	パソコン講習会の他、学習会・訪問相談、IT個別相談も実施した。iPad・iPhoneの操作方を継続的に学習する熱意のある参加者が増えている	利参加者数・利用者数・利用件数・利用件数	参加者目標1,200人	947人(78.9%)	B	参加者目標1,200人	改善・見直しの実施	障害のある方のニーズに沿った事業を展開するのは勿論の事、指導者を養成する事業(IT支援者養成講習会等)も積極的にやっていきたい	1,708	1,708	1,708	障害者福祉課

【基本施策1】(番号1～49、48事業)

番号	種類	分野	生涯学習プラン基本施策・施策の展開		未来デザイン2040 都市像・基本施策		事業名	事業目的・内容	令和5年度 実績					令和5年度の目標および評価				令和6年度 目標設定				令和5年度 予算 (千円)	令和5年度 決算 (千円)	令和6年度 予算 (千円)	令和6年度 担当課 (実施主体)
			NO	施策名	No	基本施策			対象者	回数	参加者数 (人)等	実施形態	実施方法	令和5年度の実施状況や 昨年度との比較・変更点、 参加者の声	指標 評価	令和5年度目標値	目標値に 対する 実績値	評価	令和6年度目標値	方向性	令和6年度の 課題と方向 廃止・休止の場合はその理由				
37	講座・教室	健康・スポーツ	010	障害のある人の生涯にわたる多様な学びの支援	2-2	誰もが生きがいを 持ち安心できる 地域づくり	見えにくく なった方の 学習	中途視覚障害者の日常生活の向上を図る。 中途視覚障害者を主な対象者として、点字の学習、歩行訓練等を行い、日常生活の向上を図る。	障害者	20	230	指定管理者	対面実施	中途視覚障害者、そのご家族を対象にした講座であるが、令和5年度は中学校に通学する事に高いハードルのあった学生を受け入れた。熱心に学習を続け、打つことはもちろん、指で点字を読めるまでになった	数・参加者用数・数利用者	講習会実施回数25回	20回(80%)	A	講習会実施回数25回	取組の継続	継続的に参加されている方が多く、学習期間が長くなっていると共に、障害が進行し更に見えづらく、見えにくくなっている方が増えている。参加者個々の状況に応じた支援を丁寧に行っていく	433	308	465	障害者福祉課
38	講座・教室	社会貢献活動	010	障害のある人の生涯にわたる多様な学びの支援	2-2	誰もが生きがいを 持ち安心できる 地域づくり	中途失聴難聴者のための手話講習会	中途失聴難聴者が、自らのコミュニケーション手段として手話を習得するほか、情報交換の場の提供。 中途失聴難聴者が、自らのコミュニケーション手段として手話を習得する場として実施する(入門・初級・中級・上級の4クラス)ほか、中途失聴難聴者同士の情報交換の場としている。	障害者	64	586	指定管理者	対面実施	手話の学習はもちろんの事、同じ障害を持つ仲間づくり・交流を期待してお申込みをされている方が多い。繰り返し受講が可能な講座であるので、受講希望者を積極的に受け入れたい。新規参加者は増加傾向にある。	数・参加者用数・数利用者	講習会実施回数66回(全コース合計)	64回(96.9%)	A	講習会実施回数66回(全コース合計)	取組の継続	高齢の参加者が多い現状である。高齢になると手話の習得に時間がかかる事から、継続的に繰り返し受講をすることで効果が得られると考えている。講師の理解により上記の対応が認められている事から参加を希望する方たちを引き続き積極的に受け入れていきたい	1,142	936	1,238	障害者福祉課
39	その他	趣味的なもの	010	障害のある人の生涯にわたる多様な学びの支援	2-2	誰もが生きがいを 持ち安心できる 地域づくり	障害のある人も参加しやすい交流活動の場	障害者等が地域において自立した日常生活又は社会生活を営むこと 障害者の孤立化を防止するため、気楽に利用できる交流活動の場として地域活動支援センターを運用し、創作的活動、生産活動の機会の提供、社会との交流の促進を図る。	障害者	206	1,743	指定管理者	対面実施	利用者アンケートの結果を受け、「健康麻雀教室」「パッチワーク」教室を新規に実施した。麻雀教室は初心者の方も受け入れをし、参加者の反応は良好だった。パッチワーク教室は障害のある方を講師に迎え、補助者の方と共に指導に当たっていただいた	数・参加者用数・数利用者	前年度(4,130人)と同等程度	1,743人(42.2%)	B	前年度比110%(R5実績:1,743人)	取組の継続	障害のある参加者への合理的配慮を重視し、出来る限りの対応をおこなっていく。 令和6年度はヨガ教室に手話通訳者の派遣を依頼し、参加予定の聴覚障害者の方の情報保障を担当してもらう	46,458	46,458	47,488	障害者福祉課
40	イベント等	社会貢献活動	010	障害のある人の生涯にわたる多様な学びの支援	2-2	誰もが生きがいを 持ち安心できる 地域づくり	福祉まつり	事業に対して費用等を助成し、障がい者福祉の発展を図る。 市内の社会福祉施設・団体が手作りの作品や食品を販売するほか、ステージ上で太鼓や手話コーラスなどの活動発表を行い、施設利用者と地域住民との交流を図るとともに、福祉ボランティア活動に対する市民の関心と参加を高める。	どなたでも	1	2,000	実行委員会	対面実施	開催場所を富士森公園から西放射線ユーロードに初めて変更し、多くの市民及び通行人に社会福祉施設の活動を周知することができた。しかしながら、コロナウィルス感染症が5類に移行したばかりだったので、参加施設数が少なかった。経費の面では、八王子商工会議所からテントを無料で借りられたので、レンタル料金を削減できた。	普及・啓発等	3年ぶりの開催	3年ぶりの開催	A	参加30団体以上	取組の継続	西放射線ユーロードでの開催は、社会福祉施設の活動を周知するのに適しているが、施設利用者重視で富士森公園開催を希望する施設の参加を増やしていけるかが課題となっている。	400	121	333	社会福祉協議会市民力支援課(福祉政策課)
41	イベント等	社会貢献活動	010	障害のある人の生涯にわたる多様な学びの支援	2-2	誰もが生きがいを 持ち安心できる 地域づくり	障害者文化展	障害のある人に作品発表の機会を提供するとともに、障害者福祉・障害理解の促進に努める 障害のある人に作品発表の機会を提供するとともに、広く障害者福祉の啓発を行い、賞を贈るなど今後の創作を奨励する。	障害者	1	330	指定管理者	対面実施	例年出展下さる団体の他、特別支援学校、新規団体からのお申込みもあり、前年度の出展数と比較すると、約30点増の81点となった	用件参加者数等・利用者数・数利用者	作品出展数100点	81点	A	作品出展数100点	取組の継続	過去の出展数と比較すると、その数は減っているが、その分1作品毎の展示スペースを広く確保する事が出来るようになった。 令和6年度も例年通りの広報活動を行い、出展者を募っていく	139	118	148	障害者福祉課
42	講座・教室	健康・スポーツ	011	健康寿命の延伸につながる生涯学習の取組	3-3	学びを活かせる生涯学習の推進	市民いきいきリフレッシュ体操	市内の各市民センターで健康体操教室を開催し、市民の健康維持・増進を図る。	どなたでも	57	1,130	市単独	対面実施	参加定員をコロナ禍前の基準に戻し、より多くの市民が参加できる機会を増やした。	数・参加者用数・数利用者	4,500人	1,130人	B	4,500人	取組の継続	市民の健康維持・増進を図るため、引き続き実施する。	7,237	4,175	7,942	スポーツ振興課
43	講座・教室	教養的なもの	011	健康寿命の延伸につながる生涯学習の取組	3-3	学びを活かせる生涯学習の推進	ゆうゆうシニア講座	シニア世代の健康維持や生きがいづくりを目的に、パソコン・タブレット・スマートフォンなどのICTに関連する講座や健康維持に関するプログラムなどを提供する。	シニア	42	1,330	市単独	対面実施	3館合計42講座を開催し、延べ1,330名が参加した。 生活の質の向上に繋がる講座を多く実施した。(参考:令和4年度は45講座、1,058名参加)	参加者の満足度	満足度85%以上	79.1%	A	満足度85%以上	取組の継続	講座を実施し、ICT関連講座や健康維持に関するプログラムなどを提供していく。	995	718	517	学習支援課
44	その他	教養的なもの	011	健康寿命の延伸につながる生涯学習の取組	3-3	学びを活かせる生涯学習の推進	高齢者施設読書活動支援	図書館への来館が困難な高齢者の入居施設を対象に、図書の出張貸出しや団体貸出しを実施し、身近で読書に親しめる環境の整備を図る。	シニア	42	【施設数】12か所 【貸出数】4,870冊	共催	対面実施	出張おはなし会は中止となることもあったが、入居者からのリクエストも多く、事業が定着してきた。	参加者の満足度	【施設数】11か所 【貸出数】5,178冊	【施設数】12か所 【貸出数】4,870冊	A	【施設数】12か所 【貸出数】5,000冊	取組の継続	ボランティアや職員との交流は入居者も楽しみにしており、図書の貸出とともに出張おはなし会を継続して実施する。	4,671	4,632	5,147	図書館課
45	講座・教室	健康・スポーツ	011	健康寿命の延伸につながる生涯学習の取組	2-3	保健医療の充実	高齢者の保健事業と介護予防の一体的実施(旧介護予防講座)	フレイル予防の視点を取り入れ、要介護状態になることを防止し、地域において自立した日常生活を営めることを目的とした、各種介護予防講座を実施する。	シニア	大横55 東浅川1021 58 南大沢1093 326 6568	大横1021 東浅川1093 南大沢6568	市単独	対面実施	令和4年度は介護特会の介護予防事業と後期特会の高齢者の保健事業と介護予防の一体的実施をそれぞれ行っていたが、事業内容が重複することなどから事業整理を行い、令和5年度からは高齢者の保険事業と介護予防の一体的実施に統一した。	普及・啓発等	普及・啓発の対象者数5,000人 講座等の満足度80%	大横4721 東浅川1093 南大沢5948 満足度80%	A	講座の満足度80%	取組の継続	フレイルの知識が市民にも広がってきており、測定会等の講座の依頼が増えたため、健康づくりサポーターや高齢者あんしん相談センター、高齢者いきいき課等と連携を取り、事業の棲み分けを行う。参加者の理解、満足度向上のため令和6年度の目標値は講座の満足度とする。	大横917 東浅川5,779 南大沢6,183	大横183 東浅川4930 南大沢5548	大横966 東浅川6739 南大沢6183	大横保健福祉センター 東浅川保健福祉センター 南大沢保健福祉センター

【基本施策1】(番号1～49、48事業)

番号	種類	分野	生涯学習プラン基本施策・施策の展開		未来デザイン2040都市像・基本施策		事業名	事業目的・内容	令和5年度 実績						令和5年度の目標および評価				令和6年度 目標設定			令和5年度予算(千円)	令和5年度決算(千円)	令和6年度予算(千円)	令和6年度担当課(実施主体)
									対象者	回数	参加者数(人)等	実施形態	実施方法	令和5年度の実施状況や昨年度との比較・変更点、参加者の声	指標値	令和5年度目標値	目標値に対する実績値	評価	令和6年度目標値	方向性	令和6年度の課題と方向 廃止・休止の場合はその理由				
			NO	施策名	No	基本施策																			
46	講座・教室	趣味的なもの	011	健康寿命の延伸につながる生涯学習の取組	2-2	誰もが生きがいを持ち安心できる地域づくり	ボランティア講師による教室	高齢者及び障害のある人を対象とし、健康の増進、生きがいの高揚、社会参加の促進、参加者間の交流などを支援する。 ボランティア講師に対しての生きがい含め、高齢者および障害のある人を対象に今後の生きがいづくりとして開催。	シニア	35	615	市単独	対面実施	令和5年度より、新たにボランティア講師による体操教室を実施した。新型コロナウイルスが5類へと移行したことに伴い、既存の教室の参加者も増え、参加者の満足度が高い教室を実施することができた。	参加者の満足度	講座等の満足度80%	講座等の満足度80%以上	A	講座等の満足度80%以上	取組の継続	令和6年度も高い満足度を維持したまま実施していく。	142	13	66	南大沢保健福祉センター
47				#N/A		#N/A																			
外国人のための防災訓練（令和2年度で事業廃止）																									
48	講座・教室	社会問題・市民生活に関するもの	012	性や国籍にかかわらない社会参画につながる学び	2-1	誰もが心豊かに暮らせる市民生活の推進	男女共同参画に係る講座の開催	男女共同参画社会の実現に向けて、一人一人の個性と能力を発揮できるよう、意識啓発や参画のための学習機会を提供する。	どなたでも	2回	135人	市単独	対面実施	企業関係者を対象に、企業における女性登用をテーマに、講演会&トークイベントを開催し、一般の参加者からも女性活躍の必要性を学べてよかったなどの声が寄せられた。	参加者の満足度	アンケートで「大変満足」または「おおむね満足」と答えた割合90%	アンケート集計結果における満足度95.4%	A	アンケートで「大変満足」または「おおむね満足」と答えた割合90%	取組の継続	男女共同参画社会の実現に向けて、意識啓発や能力発揮につながる講座を開催する。	1,248	825	1,347	男女共同参画課
49	講座・教室	教養的なもの	012	性や国籍にかかわらない社会参画につながる学び	3-3	学びを活かせる生涯学習の推進	国際理解講座	外国の文化への理解と外国人との交流を深め、多文化共生の推進を図る。	どなたでも	6	397	市単独	対面実施	3館合計6講座を開催し、延べ397名が参加した。 (参考:令和4年度は7講座、275名参加)	実事・業拡の再構築・充	協働体制づくり	市内団体等と協働で6講座を実施	A	協働体制づくり	取組の継続	講座を実施し、多文化共生の推進を図っていく。	148	126	157	学習支援課

【基本施策2】(番号50～107、57事業)

番号	種類	分野	生涯学習プラン基本施策・施策の展開		未来デザイン2040 都市像・基本施策		事業名	事業目的	令和5年度 実績						令和5年度の目標および評価				令和6年度目標値			令和5年度 予算 (千円)	令和5年度 決算 (千円)	令和6年度 予算 (千円)	令和6年度 担当課 (実施主体)
									対象者	回 数	参加者数(人)等	実施 形態	実施 方法	令和5年度の実施状況や昨年度との比較・変更点、参加者の声	指 評 標 価	令和5年度目 標値	目標値に 対する 実績値	評 価	令和6年度目標値	方向性	令和6年度の 課題と方向 廃止・休止の場合はその理由				
50	講座・教室	子育て	NO 013	施策名 地域全体で子どもの育ちを支える	No 3-1	基本施策 全ての子どもが健やかに育つ地域づくり	家庭教育啓発リーフレット等の配布	家庭教育について、より広い層に関心をもってもらうとともに、地域で子育てを応援するよう啓発を行う。 子育て中の保護者や行政委員等にリーフレットを配布し、家庭教育について、より広い層に関心をもってもらうとともに、地域で子どもと子育てを応援するよう啓発を行う。	親子・保護者	1	5,070部	市単独	—	市立小学校全校(義務教育学校を含む)の新小学1年生を対象にリーフレットを配布した。(5,070枚)	普及・啓発等	効果的な啓発及びリーフレットの配布	リーフレットの配布	A	効果的な啓発及びリーフレットの配布	取組の継続	市立小学校全校(義務教育学校を含む)の新小学1年生を対象にリーフレットを配布する。	0	0	0	学習支援課
			51	講座・教室	子育て	013	地域全体で子どもの育ちを支える	2-1	誰もが心豊かに暮らせる市民生活の推進	はちおうじファミリー☆ファシリテーター養成講座	—	0	—	—	平成31年度より未実施	数・参加者用数件・数利用者	実施に向け検討	—	評価なし	実施に向け検討	取組の継続	人材の発掘及び担い手の育成の方法について検討を行う。	0	0	0
52	講座・教室	子育て	013	地域全体で子どもの育ちを支える	3-1	全ての子どもが健やかに育つ地域づくり	ファミリー・サポート・センター事業	子どもを見て欲しい依頼会員とボランティアの提供会員による相互援助活動。 子育ての手助けをして欲しい人とお手伝いができる人が会員登録をして、子育てを地域で相互に助け合う活動を行う。	成年	-	351人	補助	対面実施	SNSや広報へ掲載し、本事業の周知を図った。さらに、提供会員の登録を見直し、登録者の整理を図った。	等事業の再構築・充実・拡大	提供会員数350人	351人	A	375人	取組の継続	利用者のニーズに応じた支援が行えるよう、安定した提供会員と既存会員のスキルアップを目指し、研修の充実を図る。	18,952	13,550	16,852	子ども家庭支援センター
53	その他	子育て	013	地域全体で子どもの育ちを支える	3-1	全ての子どもが健やかに育つ地域づくり	学童保育所	保護者の就労等の理由から、放課後に保育を必要とする児童を対象に、遊びを中心として異年齢集団の中で一人一人の健全な成長を手助けする。	子ども	月～土(ただし、祝日及び年末年始を除く)	令和5年4月1日時点の在籍児童数6,331人 述べ登所児童数1,077,188人	指定管理者	対面実施	小学校の特別教室を借用する等の方策により、令和4年から引き続き待機児童ゼロを維持した。また、夏季休業中の昼食提供については、令和4年度の21校から42校へと実施校数を拡大した。	その他	待機児童ゼロを維持する。	待機児童ゼロを維持することができた。	A	待機児童ゼロを維持する。	取組の継続	児童数が増加している小学校区について、学校内の整備や周辺のテナントを借用することで、待機児童ゼロを維持する。また、夏季休業中の昼食提供を58校に拡充する。	2,648,419	2,566,057	2,867,741	放課後児童支援課
54	その他	社会貢献活動	014	学校と地域との連携・協働による生涯学習活動	3-2	未来をひらく子どもを育てる教育	教育人材バンクへのボランティア希望者の登録	地域ボランティア等の活用を図り、市立小・中学校および義務教育学校の教育活動を支援する。 学校と地域が一体となり、子どもを育む環境を整備するため、ボランティア希望者を人材バンクに登録する。	どなたでも	9,833	1,117	市単独	対面実施	新型コロナウイルス感染症が落ち着いたため、ボランティア活動者が増加した。	利参加者数等・利用者数・	地域人材の効果的な活用 of のすすめや、新たな人材発掘を積極的に行う。	学校に向けた人材活用 of の周知や広報・市内の大学・高等専門学校に向けた教育支援に繋げる募集を行った。	A	地域人材の効果的な活用 of のすすめや、人材発掘を継続的に行う。	取組の継続	限られた人材の効果的な活用及び新たな人材の発掘が今後の課題。	9,599	9,119	9,599	地域教育推進課
55	講座・教室	青少年育成・体験活動	014	学校と地域との連携・協働による生涯学習活動	6-1	一人ひとりが考え、ともに守る環境	市立小学校における環境教育支援	市内小学校等の児童・生徒に対し、身近な環境について興味・関心を持つきっかけを提供する。 市内小学校等の総合的な学習の時間等を実施される環境教育実習に対して、講師の派遣等の支援を行う。	子ども	川の学習33回 みどりの学習10回	川の学習：支援校23校2074名の生徒 みどりの学習：支援校5校の421名の生徒	委託	対面実施	令和4年度より新たな環境教育支援として緑地や里山をフィールドに実施する「みどりの学習」を新た開始した。	利参加者数等・利用者数・	支援校25校もしくは35回以上の支援	支援校28校、支援回数43回	A	支援校25校もしくは35回以上の支援	取組の継続	より学校が取り入れやすい工夫をしていく。	1,127	1,127	1,343	環境政策課 (委託先：特定非営利活動法人エコネット八王子)
56	講座・教室	子育て	014	学校と地域との連携・協働による生涯学習活動	3-1	全ての子どもが健やかに育つ地域づくり	放課後子ども教室	地域の人材、ボランティアの参画を得て、子どもたちに放課後の安全・安心な居場所を提供するとともに、学び・体験・遊び・交流活動等を行い、子どもの次代を担う力を育成するためのしくみづくりに資する。 平日の放課後や週末、夏休み等に小学校の施設を活用し、地域の人やボランティアの参画を得て全ての子どもたちに安全で安心な居場所を提供する。	子ども	年間延べ実施日数9,363日	延べ参加者数925,464人	委託	対面実施	週5日実施校数が昨年度比で2校増え、38校とすることができた。また、新たに「朝の子ども教室」を4校で実施し、始業前の児童の安全安心な居場所を提供することができた。	参加者数・利用者数・利用件数等	850,000人	925,464人	S	950,000人	取組の継続	実施日数の拡充や活動内容の充実など、学童保育所との連携による放課後の居場所づくりと、持続可能な放課後子ども教室の運営(PTAや地域における世代交代など、運営団体の担い手不足)に取り組む。	262,221	213,027	297,301	放課後児童支援課 (各小学校地区放課後子ども教室推進委員会)

【基本施策2】(番号50～107、57事業)

番号	種類	分野	生涯学習プラン基本施策・施策の展開	未来デザイン2040 都市像・基本施策	事業名	事業目的	令和5年度 実績						令和5年度の目標および評価				令和6年度目標値				令和5年度 予算 (千円)	令和5年度 決算 (千円)	令和6年度 予算 (千円)	令和6年度 担当課 (実施主体)
							対象者	回 数	参加者数(人)等	実施形態	実施方法	令和5年度の実施状況や昨年度との比較・変更点、参加者の声	指標 標 価	令和5年度目 標 値	目標値に 対する 実績値	評 価	令和6年度目標値	方向性	令和6年度の 課題と方向 廃止・休止の場合はその理由					
57	講座・教室	子育て	014 学校と地域との連携・協働による生涯学習活動	3-1	全ての子どもが健やかに育つ地域づくり	放課後子ども教室と学童保育所との連携拡大	学童保育所の管理運営を行うとともに、放課後子ども教室と連携し、全ての放課後の児童の居場所づくりを一体的に推進する。 全ての児童の放課後の安全・安心な居場所を確保し、児童が多様な体験・活動を行うことができるよう、放課後子ども教室と学童保育所の連携による一体型を推進する。	子ども	-	52校	委託	対面実施	一体型での連携校が昨年度比で1校増え、52校とすることができた。 更に、放課後子ども教室に参加する児童と学童保育所の児童がともに参加できるスポーツプログラム事業を令和4年度に新たに創設し、元プロ野球選手による野球教室を計30回、元Jリーガーによるサッカー教室を計30回実施した。	事業の再構築・充実・拡大等	54校	52校	A	56校	取組の継続	全ての子どもの安全・安心な居場所を確保する国の示す「連携型」についてはすでに達成している。 今後、学童保育所の学校内への移転や、学童保育所と放課後子ども教室の連携を更に推進し、両事業の参加児童がともに活動できる機会を拡充し、校内交流型（一体型）運営を進めていく。	39,396	22,451	39,396	放課後児童支援課
58	講座・教室	子育て	015 子育て世代がつながるきっかけづくり	3-1	全ての子どもが健やかに育つ地域づくり	子育てひろば(親子ふれあい広場・親子つどいの広場など)	乳幼児及びその保護者が相互の交流を行う場所として、子育てについての相談、情報提供、助言・援助等を行う。	乳幼児及び保護者	2,024回	27,120人	委託	対面実施	利用制限を緩和したことから、乳幼児及び保護者へ情報提供、助言・援助等を多く行った。	充事業の実業の拡再大構築等	講座実施数2,000回	講座実施数2,024回	A	講座実施数2,050回	取組の継続	身近な相談場所としての相談機能の拡充、安心して利用できる場の提供や支援	126,314	123,346	141,509	子ども家庭支援センター
59	講座・教室	子育て	015 子育て世代がつながるきっかけづくり	2-1	誰もが心豊かに暮らせる市民生活の推進	子育て応援ひろば	子育ての中で生じる悩みを解消し、子育て中の保護者を支援する。 グループワークなどを通じて子育ての中で生じる悩みを解消し、子育て中の保護者を支援する。	親子・保護者	1	5	市単独	対面実施	クリエイトホールで1講座を開催し、子育て中の保護者を支援した。 (参考：令和4年度は4講座)	参加者の満足度	満足度90%以上	100.0%	A	満足度90%以上	取組の継続	講座を実施し、子育て中の保護者を支援していく。	177	22	177	学習支援課
60	講座・教室	子育て	015 子育て世代がつながるきっかけづくり	2-1	誰もが心豊かに暮らせる市民生活の推進	家庭教育支援講座「星とおひさまFika(フィーカ)キャラバン」ワークショップ	家庭教育支援講座を茶話会(Fika(フィーカ))形式のワークショップで行うことにより、保護者の心理的負担を軽減し、家庭の教育力の向上を図る。	親子・保護者	16	208	市単独	対面実施	小学校13校、生涯学習センター2館、学運協等を対象としたワークショップ1回の計16回実施した。	実事業の業の拡再大構築等	10校	13校+2館+1回	A	15校	取組の継続	家庭教育支援チームとの協働により、講座を開催する。	150	162	150	学習支援課
61	イベント等	健康・スポーツ	016 地域での活動のきっかけづくり	3-3	学びを活かせる生涯学習の推進	地区運動会・スポーツ大会	総合型地域スポーツクラブや旧体力づくりへ補助金を交付し、スポーツ大会等を通じ、地域コミュニティの活性化やスポーツ実施率の向上を図る。	どなたでも	13	10,027人	補助	対面実施	新型コロナウイルス感染症の影響により、開催しなかった地区もあったが、徐々にコロナ禍前に戻りつつあり、団体と調整しながら開催支援を行った。	用参件加数者等数・利用者数・利	8,000人	10,027人	A	8,000	取組の継続	実施団体と調整しながら、継続した支援を実施していく。	1,683	1,254	1,782	スポーツ振興課
62	講座・教室	社会貢献活動	016 地域での活動のきっかけづくり	1-1	市民自治の推進	はちおうじ志民塾	これまで培ってきた自らの経験や知識を地域に根ざした主体的な活動に活かし、地域活動の担い手の中心となる人材を養成する。 これから定年退職する人や定年を迎えた人を対象に、退職後地域で活動するきっかけづくりをする。	八王子市内で市民活動をしたいと思っている人	15	22	委託	対面実施	令和5年度の受講生22名は、30歳代～70歳代と幅広く、男女比は同数だった。シニア世代を主な対象とする講座ではあるが、地域での活動を現役世代が積極的に始めていることが実感できる。グループでの活動テーマも例年になく個性的なものが多く、今後実際に地域で活動することにつながるような興味深いものであった。	用参件加数者等数・利用者数・利	20	22	A	20	取組の継続	・講座で地域課題の設定から解決の方法まで、もう少し時間をかけて掘り下げる機会をつくる必要があると感じる。 ・卒塾後に具体的な行動として市民活動、地域活動等へつなげるための支援をどう行っていくかの検討が必要。 ・受講生のニーズに対応した講座内容の検討が必要。	2,500	2,500	2,565	協働推進課
63	イベント等	社会貢献活動	016 地域での活動のきっかけづくり	1-1	市民自治の推進	市民活動入門講座(アクティブ市民塾)	市民活動団体の活動を紹介する。 市民活動に対する理解を深め、市民活動を促進する。	どなたでも	6	101	指定管理者	対面実施	居場所作り見学会、無料学習塾訪問、ノルディックウォーク、初冬の里山散策、演劇体験、エンディングノート等を担うそれぞれの団体とともに体験イベントを開催し、団体の活動紹介を行った。	数参・加利用者用数件・数利用者	150	101	B	150	取組の継続	令和6年度もさまざまな分野の市民活動団体の活動を紹介するために、活動の現場に出向く講座等を行っていく。	指定管理料の中で実施	指定管理料の中で実施	指定管理料の中で実施	協働推進課(市民活動支援センター)
64	イベント等	社会貢献活動	016 地域での活動のきっかけづくり	1-1	市民自治の推進	地域デビューパーティー802	シニア世代を対象に、市民活動に関する講演や団体紹介など地域での活動に参加するきっかけづくりをする。	どなたでも	1	426	実行委員会	対面実施	市民と市民活動団体の出会いの場、マッチングイベントとして開催し、団体関係者166人、来場者235人、実行委員関係者8人が参加し、総計426人となり、昨年の351人と比べて、20%増となった。また、後日、出展団体からマッチング結果を報告させ、イベントの効果を測った。	等参加者数・利用者数・利用件数	200	426	A	450	取組の継続	令和5年度に団体とのマッチング結果の調査結果を踏まえ、実施内容を検討する。	200	200	200	協働推進課(地域デビューパーティー802実行委員会)

【基本施策2】(番号50～107、57事業)

番号	種類	分野	生涯学習プラン基本施策・施策の展開	未来デザイン2040 都市像・基本施策	事業名	事業目的	令和5年度 実績						令和5年度の目標および評価				令和6年度目標値			令和5年度 予算 (千円)	令和5年度 決算 (千円)	令和6年度 予算 (千円)	令和6年度 担当課 (実施主体)		
							対象者	回 数	参加者数(人)等	実施 形態	実施 方法	令和5年度の実施状況や昨年度との比較・変更 点、参加者の声	指標 評価	令和5年度目 標値	目標値に 対する 実績値	評 価	令和6年度目標値	方向性	令和6年度の 課題と方向 廃止・休止の場合はその理由						
65	講座・教室	社会貢献活動	016	地域での活動のきっかけづくり	3-3	学びを活かせる生涯学習の推進	生涯学習コーディネーター養成講座	市民の学習活動を支援する「生涯学習コーディネーター」を養成し、生涯学習推進事業の中核を担う人材の育成を目指す。 自ら講座を企画・運営し、市民の生涯学習活動を支援する「生涯学習コーディネーター」を養成する。	成年	1	11	共催	対面実施	令和5年度は11名が受講し、最終的に9名が修了した。令和4年度と比べて参加者数が減少したが、引き続き満足度の高い講座を実施できた。	参加者の満足度	アンケートで「満足」「やや満足」と答えた割合80%以上	満足度90%	A	アンケートで「満足」「やや満足」と答えた割合80%以上	取組の継続	共催団体とより効果的な開催方法の検討を行いながら、参加者数の増加と満足度の向上を図り、より多くの市民が生涯学習を行うきっかけづくりを提供する。	40	40	48	学習支援課
66	講座・教室	社会貢献活動	017	地域で活躍するボランティアの養成・支援	2-2	誰もが生きがいを持ち安心できる地域づくり	シニア元気塾 ボランティア入門講座	知識、経験、特技を持つ高齢者の新たな人材発掘や、ボランティア活動のきっかけづくり、高齢者の社会参加促進を図る。	シニア	8	13人	委託	対面実施	令和4年度同様通常通り実施。講師の在籍する都立大学、山野美容芸術短期大学の教室を含む3会場で開催。ボランティアに参加するきっかけづくりを求めて参加した人が多かった。受講後同期会に全員が参加するなど好評だった。	数・参加者数・利用者数・数・利用件数・数・利用件数	修了者数30人/年	修了者数13人/年	B	修了者数30人/年	取組の継続	多くの方にボランティア活動のきっかけづくりの機会を提供できるように広く周知を図る。	3,000	3,000	3,282	高齢者いきいき課(八王子センター元気)
67	講座・教室	社会貢献活動	017	地域で活躍するボランティアの養成・支援	6-1	一人ひとりが考え、ともに守る環境	川の学習サポーター養成講座	市内小学校等で実施している環境教育支援(川の学習)の支援者を育成する。 川に関する基本的な知識を学び、市内小学校等で環境教育支援を行う人材を育成する。	どなたでも	2期計8回	11人(1期6人、2期5人)	委託	対面実施	より受講しやすいスケジュールと講義内容とした。	数・参加者数・利用者数・数・利用件数・数・利用件数	参加者20人	参加者11人	B	参加者20名	取組の継続	より多くの川の学習サポーターを育成し、年度内からの支援者としての活躍を目指す。	440	440	27	環境政策課(委託先:特定非営利活動法人エコネット八王子)
68	講座・教室	社会貢献活動	017	地域で活躍するボランティアの養成・支援	3-2	未来をひらく子どもを育てる教育	学校図書館ボランティア研修会	学校図書館の環境整備及び読書活動の推進に必要な技術及び知識を習得する。	どなたでも	2	55	委託	対面実施	実際に活動しているボランティアの事例発表などを実施 わかりやすい研修会であったとの評価があった	等者参加者数・参加者数・利用者数・数・利用件数・数・利用件数	107人(全校×1人)	55	B	80人	取組の継続	ボランティアが活動していない学校もあるため、目標値107人(全校から一人ずつ)については変更する。	0	0	0	教育指導課
69	講座・教室	社会問題・市民生活に関するもの	017	地域で活躍するボランティアの養成・支援	2-2	誰もが生きがいを持ち安心できる地域づくり	日本語ボランティア養成講座	外国人市民の日本語学習支援の充実 外国人市民の日本語学習支援のための支援者を養成する講座を実施する。	外国人	3	60人	委託	対面実施	変更点無し	参加者数・利用者数・利用件数等	55人	60人	A	55人	取組の継続	受講者募集の効果的な周知及び講座の内容の充実について検討する。	470	470	498	多文化共生推進課
70	講座・教室	社会貢献活動	017	地域で活躍するボランティアの養成・支援	3-3	学びを活かせる生涯学習の推進	図書館ボランティア等の連携・支援	図書館事業に関わる関係団体やボランティアと連携し、図書館サービスを拡充するとともに、育成やスキルアップを支援する。	どなたでも	【実施回数】640回	【参加者数】915人	共催	対面実施	登録ボランティアが行う活動により図書館事業の推進が図られた。なお、今年度は生涯館においてヤングパートナーズ(13歳～24歳頃)を募り、図書館主催の「おはなし会」などに従事することで若年層からのボランティア意識醸成にもつながることができた。	その他	前年度を上回る回数(468回)、及び参加者数(460人)	【実施回数】640回 【参加者数】915人	A	前年度を上回る数 【実施回数】650回 【参加者数】950人	取組の継続	引き続き、音訳や点訳、宅配、おはなし会などイベント協力など協働し、図書館事業の活性化を図っていく。 ヤングパートナーズもR6年度は、さらなるイベント(古本まつり、ちゃりん祭ほか)に従事し活動を活性化したい。	134	87	134	図書館課
71	講座・教室	社会貢献活動	017	地域で活躍するボランティアの養成・支援	2-2	誰もが生きがいを持ち安心できる地域づくり	手話講習会	手話通訳ボランティア・手話通訳者の養成及び障害のある人に対する理解の促進を図る。 初級・中級手話講習会や手話通訳者養成入門講座等を開催し、手話通訳ボランティアの養成及び障害のある人に対する理解の促進を図る。	若者 成年 シニア	142	2,100	指定管理者	対面実施	市内手話講習会の内、中級手話講習会、手話通訳者養成講座入門、手話通訳者養成講座を実施した。 感染症等で講座を中断することなく全課程を終えた	件数・参加者数・利用者数・数・利用件数・数・利用件数	参加者目標1430人	146.8%	A	参加者目標1500人	取組の継続	手話ボランティアを養成することも講座の目的の一つであるが、最終的な目標として手話通訳者の増員が望まれているところである。当センターでは八王子市手話講習会の最上級クラスを実施していることから、養成に関する支援を積極的に行う	1,557	1,571	1,633	障害者福祉課

【基本施策2】(番号50～107、57事業)

番号	種類	分野	生涯学習プラン基本施策・施策の展開	未来デザイン2040 都市像・基本施策	事業名	事業目的	令和5年度 実績						令和5年度の目標および評価				令和6年度目標値			令和5年度 予算 (千円)	令和5年度 決算 (千円)	令和6年度 予算 (千円)	令和6年度 担当課 (実施主体)		
							対象者	回 数	参加者数(人)等	実施 形態	実施 方法	令和5年度の実施状況や昨年度との比較・変更 点、参加者の声	指 評 標 価	令和5年度目 標値	目標値に 対する 実績値	評 価	令和6年度目標値	方向性	令和6年度の 課題と方向 廃止・休止の場合はその理由						
72	講座・教室	社会貢献活動	017	地域で活躍するボランティアの養成・支援	2-2	誰もが生きがいを持ち安心できる地域づくり	要約筆者養成講習会	要約筆者の養成及び障害のある人に対する理解の促進を図る。 手話を使えない、中途失聴難聴者の通訳手段である要約筆記技術の習得、要約筆者の養成の場として、2か年にわたって実施する。	若者 成年 シニア 通訳業務が可能な障害者の方	—	—	指定管理者	対面実施	事業の実施を計画し、準備を進めていたが、受講者数が定員に達せず(お申込み者2名)、講座が成り立たないことから、事業実施を中止した。代替事業として、要約筆記の啓発講座を実施し、令和6年度の事業参加希望者を増やすための取組を実施した。	件参加者数・利用者数・利用	受講者数10人	0人	B	受講者数10人	取組の継続	令和6年度は多くの方にお申込みをいただき、12名が受講している。2月に行われる「要約筆者全国統一試験」に合格できるよう、学習環境を整えていく。令和6年度中には、令和7年度の受講生の募集が開始されるため、令和6年度同様、多くの方々にお申込みいただけるよう、関係機関と連携し、講座のPRをしていきたい	1,500	73	1,550	障害者福祉課
73	講座・教室	社会貢献活動	017	地域で活躍するボランティアの養成・支援	2-2	誰もが生きがいを持ち安心できる地域づくり	災害ボランティアリーダー養成講座	災害ボランティアセンターの運営に協力いただく災害ボランティアリーダー(市民ボランティア)を養成するために講座を実施する。	どなたでも	新規養成講座全4回、継続リーダーフォローアップ講座2回 運営訓練2回	養成講座:14人 フォローアップ講座:20人 運営訓練:182人	補助	対面実施	対面に講座・訓練を実施した。最終日の災害ボランティアセンター運営訓練では、ボランティアの他に地域住民、行政等の関係機関も参加した。参加者からは平時からの繋がりが大切であると実感したなどの声をいただいた。	利参加者数等・利用者数・利用	養成講座:15人 フォローアップ講座:20人 運営訓練:120人	養成講座:15人 フォローアップ講座:18人 運営訓練:179人	A	養成講座:15人 フォローアップ講座:20人 運営訓練:120人	取組の継続	昨年同様対面に実施を行う。運営訓練では、ボランティアの他に地域住民、行政などの関係機関にも参加し広く災害ボランティアセンター事業を周知していく。	293	607	525	社会福祉協議会市民力支援課(福祉政策課)
74	講座・教室	社会問題・市民生活に関するもの	018	地域の課題解決につながる学びの提供	3-3	学びを活かせる生涯学習の推進	はちおうじ出前講座	市職員等が地域の団体等へ出向き、担当業務に関して専門知識を活かした講座を行うことで、市民の生涯学習活動を支援し、意識の向上を図るとともに、市政に対する理解を深める。	どなたでも	2,145	147,593	共催	どちらも実施	依頼者の希望に応じながら、様々な講座を提供することができた。	数参加者数・利用者数・利用	利用者数150,000人以上	147,593人	A	利用者数150,000人以上	取組の継続	市民の多様な学習ニーズに応えられるよう、講座提供先の開拓に努める。また、オンラインでの講座の開催にも積極的に取り組む。	—	—	—	学習支援課
75	講座・教室	教養的なもの	018	地域の課題解決につながる学びの提供	6-1	一人ひとりが考え、ともに守る環境	エコひろばでの環境教育	環境について関心を持つきっかけづくりとして、環境教育・環境学習の講座を実施する。	どなたでも	ordinary program (予約不要の環境教育講座) 12回 環境学習講座4回	(予約不要の環境教育講座) 103名 環境学習講座 116名	指定管理者	対面実施	委託内容の見直しにより、あったかホール館内でのイベントや講座等は指定管理者による実施となった。	用参加者数等・利用者数・利	140名	参加者計219名	A	参加者400名以上	取組の継続	環境により関心を持ってもらうような講座の内容改善やより広く周知活動を行うことで、参加者の増加および市民の環境意識の醸成を目指す。	—	—	—	環境政策課(委託先: NPOフュージョン長池)
76	講座・教室	社会問題・市民生活に関するもの	018	地域の課題解決につながる学びの提供	6-2	環境負荷の少ないまちづくり	クールセンター八王子での省エネ講座	地球温暖化対策に関する普及啓発 地球温暖化対策に興味を持ち、実践につなげられるように、講座を実施する。	どなたでも	46	3,285	委託	対面実施	回数は、6回減少したが、参加人数は約200人増加した。講座一つ一つを魅力的なものとするため内容を精査し、集客に努力した。	普及・啓発等	前年度と同等以上	3,285	A	前年度と同等以上(R5実績: 3,285人)	取組の継続	2050年ゼロカーボンシティ実現および2030年度家庭分野二酸化炭素排出量削減目標66%(2013年度比)の達成に向けて、幅広い市民に参加される講座を目指す。	24,006	24,005	21,605	環境政策課(委託先: 特定非営利活動法人エヌビーオー・フュージョン長池)
77	講座・教室	健康・スポーツ	018	地域の課題解決につながる学びの提供	2-3	保健医療の充実	健康づくりサポーターの養成	地域で広く健康に関する知識を普及・啓発する健康づくりサポーターを養成、フォローする。 地域介護予防活動支援事業として、広く健康に関する知識の普及、運動(八王子けんこう体操等)、体力測定の介護予防の活動を推進するため、健康づくりサポーターの養成を行う。	どなたでも	フォロー講座 10 証明書授与式 1	フォロー講座保健総務課 25 大横 47 東浅川 44 南大沢 21 いきいき 24 証明書授与式 33	市単独	対面実施	隔年養成のため、令和5年度は養成講座の実施なし。令和4年度に養成した6期生の養成期間修了に伴い証明書授与式を実施した。	等参加者数・利用者数・利用件数	健康づくりサポーターの活動状況「活動あり」65%以上	66%	A	健康づくりサポーターの活動状況「活動あり」65%以上	取組の継続	関係所管と連携し、健康づくりサポーターの新規養成および活動支援を行う。 地域の団体だけでなく、介護予防サービス事業(通所B)など、活動の場が広がっているため、組織横断的な取り組みを充実させる。	保健総務課 282 大横 102 東浅川 53 南大沢 56 いきいき 0	保健総務課 187 大横 22 東浅川 53 南大沢 38 いきいき 0	保健総務課 514 大横 62 東浅川 46 南大沢 59 いきいき 0	保健総務課(大横保健福祉センター) (東浅川保健福祉センター) (南大沢保健福祉センター) (高齢者いきいき課)
78	講座・教室	仕事に必要な知識技能、資格の取得	018	地域の課題解決につながる学びの提供	2-2	誰もが生きがいを持ち安心できる地域づくり	介護人材養成研修	市内介護事業所における介護人材確保の促進 市内介護サービス事業所等への就労希望者を対象に、介護職に必要な知識・技術を学ぶ「介護に関する入門的研修」及び「生活支援ヘルパー研修」を実施する。合わせて就職相談会を実施し、介護人材の確保を図る。	どなたでも	5回	受講者数126人	委託	対面実施	令和4年度同様通常通り実施した。	参加者数・利用者数・利用件数等	①修了者数200人/年 ②マッチング数30人/年	①修了者数110人/年 ②マッチング数10人/年	B	①修了者数110人/年 ②マッチング数15人/年	改善・見直しの実施	【課題:受講者の少なさ】広報特集号作成のほか、オンライン研修など受講者数増に向けた取組を実施予定。 【課題:マッチング率の低さ】職場見学により、就労のイメージを具体化。また、入門的研修は特にマッチング率が低いため、本研修と連動して実施している福祉のしごと就職フェア(事業所数が研修事業で実施する就職相談会より多い)で、入門的研修の就職相談会を実施することにより、マッチング率増を図る。 【課題:離脱率】対策を検討中	7,202	6,892	9,570	高齢者いきいき課

【基本施策2】(番号50～107、57事業)

番号	種類	分野	生涯学習プラン基本施策・施策の展開	未来デザイン2040都市像・基本施策	事業名	事業目的	令和5年度 実績						令和5年度の目標および評価				令和6年度目標値			令和5年度予算(千円)	令和5年度決算(千円)	令和6年度予算(千円)	令和6年度担当課(実施主体)
							対象者	回数	参加者数(人)等	実施形態	実施方法	令和5年度の実施状況や昨年度との比較・変更点、参加者の声	指標値	令和5年度目標値	目標値に対する実績値	評価	令和6年度目標値	方向性	令和6年度の課題と方向 廃止・休止の場合はその理由				
79	イベント等	趣味的なもの	019 学習成果の発表と学びの広がり	3-3	学びを活かせる生涯学習の推進	生涯学習フェスティバル 市民の生涯学習活動のきっかけづくりと、市民交流の場を提供すること。 日頃の学習成果を作品展示やステージを通じて発表する機会を設け、市民の自発的な学習活動を行うきっかけづくりと、学びを通じた市民交流の場を提供する。	どなたでも	1	2,246	共催	どちらにも実施	令和5年度は募集団体を増やし、ステージ発表15団体、展示・体験団体8団体が参加した。延べ2,246人が来場し、令和4年度に比べより多くの市民の参加を募ることができた。また4年ぶりに市民講座を実施することができ、生涯学習活動のきっかけづくりの一助となった。	大 事 等 業 の 再 構 築 ・ 充 実 ・ 拡	延べ来場者数2,000人以上	2,246人	A	延べ来場者数2,500人以上	取組の継続	来場者・出演団体の拡大を目指しながら、開催内容の充実を図る。引き続き生涯学習を行うきっかけづくりを市民に提供していく。	5	集計中	33	学習支援課
80	イベント等	教養的なもの	019 学習成果の発表と学びの広がり	3-2	未来をひらく子どもを育てる教育	八王子市立小・中・義務教育学校合同作品展「おおり展」 児童・生徒の作品の発表を通して、豊かな心情を培い、創造的な能力の向上を図る。	どなたでも	1	11,326	市単独	対面実施	イベントを開催する際の感染症対策について、東京都等のガイドラインで規制が無くなり入場制限を行うことなく開催することができた。来場者数については、前年度より約800人の増加となった。	参 加 者 の 満 足 度	アンケートでもよかった・よかったと答えた割合99%	99.40%	A	来場者の満足度を99%以上とする。(アンケート結果でもとても良かった・よかったと回答した割合)	取組の継続	引き続き、多くの児童・生徒の作品を展示できること、多くの保護者等に来場していただくことを目標に計画し実施する。	3,596	3,506	3,447	学務課
81	イベント等	社会問題・市民生活に関するもの	019 学習成果の発表と学びの広がり	1-1	市民自治の推進	市民センターまつり 地域コミュニティ拠点の市民センターで、住民協議会による市民センターまつりを開催し、コミュニティ活動の育成・活性化を目指す。	どなたでも	18	64,582	補助	対面実施	令和5年度は、コロナが5類に移行した直後でもあり、規模を縮小して行った市民センターもあるものの、全センターがセンターまつりや文化祭等を実施し目標値を上回る来場者が参加した。	用 参 件 加 数 者 等 数 ・ 利 用 者 数 ・ 利	18センターまつり等の参加者、来場者の合計が47,000人	64,582	A	18センターまつり等の参加者、来場者の合計が47,000人	取組の継続	通常の規模に戻り、市民センターを開催する。	14,794	14,545	14,854	協働推進課(住民協議会)
82	イベント等	趣味的なもの	019 学習成果の発表と学びの広がり	3-3	学びを活かせる生涯学習の推進	南大沢総合センターまつり・川口やまゆり館まつり 学習意欲の増進、市民(利用者)同士の交流による地域活性化 生涯学習センターを利用している団体と協働して日頃の学習の成果を発表する機会を設け、市民の交流の場を提供するとともに、地域の活性化につなげる。	どなたでも	2	2,479人(来場者数)	市単独	対面実施	川口やまゆり館まつりについては19団体の参加(作品展示)、南大沢総合センターまつりについては25団体の参加があり、前年を上回る来場があった。(R5:計1,900名来場)	参 加 者 数 ・ 利 用 者 数 ・ 利 用 件 数 等	30～40団体の参加	44団体の参加	A	35～45団体の参加	取組の継続	より多くの団体に日頃の学習成果を発表する機会を提供していく。	0	0	0	学習支援課
83	イベント等	社会問題・市民生活に関するもの	019 学習成果の発表と学びの広がり	1-1	市民自治の推進	八王子まつり 地域文化の創造と継承、市民相互の連帯と融和、観光都市八王子のイメージの高揚を図る。	どなたでも	1	850,000	実行委員会	対面実施	新型コロナウイルス感染症が感染症法第5類相当に引き下げられたことから、4年ぶりの通常開催となった。平成29年(市制100周年記念)以来の85万人の観客が大いに賑わったが、交通規制の追加実施などを行い、大きな事故なく終わることができた。また、猛暑対策も行い、安全に実施することができた。	参 加 者 の 満 足 度	新型コロナウイルスの感染拡大状況を勘案し、コロナ禍以前の通常開催に近づけるようにする。	850,000	A	多くの観客や参加者で賑わうため、雑踏警備や猛暑対策を万全に行い、安全にイベントが実施できるようにする。	取組の継続	会場沿道町会や各行事団体、警察等公的団体の協力を得て開催。また、観客や参加者の安全が最優先課題。雑踏対策は警察署・交通安全協会・警備業者と連携して、交通規制や自主警備体制を含む対策を協議していく必要がある。猛暑対策についても消防署・消防団等と連携して安全体制を構築する。	42,322	42,322	47,995	協働推進課(学園都市文化ふれあい財団・八王子まつり実行委員会)
84	イベント等	社会問題・市民生活に関するもの	019 学習成果の発表と学びの広がり	1-1	市民自治の推進	八王子いちよう祭り 有志市民によるまつりで、地域の発展と自然と心のふれあう地域文化の社会的な広がりを目指す。	どなたでも	1	406,000	実行委員会	対面実施	ほとんどの会場でコロナ禍前の規模でイベントを開催することができた。高尾方面からのパレードが復活したほか、関所オリエンテーリングでは、感染症対策から自粛していた「焼印」も実施した。	数 参 ・ 加 利 用 者 数 件 ・ 数 利 用 者	新型コロナウイルスの感染拡大状況を勘案し、コロナ禍以前の通常開催に近づけるようにする。	406,000	A	八王子市・苫小牧市・日光市姉妹都市盟約50周年記念事業を八王子市と連携して実施する。(調整中)	取組の継続	通常規模に戻った各イベントと記念事業について、観客や参加者の安全を確保しつつ、地元町会や各団体と協働し開催する。	6,000	6,000	6,400	協働推進課(学園都市文化ふれあい財団・八王子まつり実行委員会)

【基本施策2】(番号50～107、57事業)

番号	種類	分野	生涯学習プラン基本施策・施策の展開	未来デザイン2040 都市像・基本施策	事業名	事業目的	令和5年度 実績							令和5年度の目標および評価				令和6年度目標値				令和5年度 予算 (千円)	令和5年度 決算 (千円)	令和6年度 予算 (千円)	令和6年度 担当課 (実施主体)
							対象者	回数	参加者数(人)等	実施形態	実施方法	令和5年度の実施状況や昨年度との比較・変更点、参加者の声	指標 標価	令和5年度目標値	目標値に対する 実績値	評価	令和6年度目標値	方向性	令和6年度の 課題と方向 廃止・休止の場合はその理由						
85	イベント等	社会問題・市民生活に関するもの	019	学習成果の発表と学びの広がり	1-1	市民自治の推進	フラワーフェスティバル由木	由木地域の活性化とコミュニティづくりを図る。	どなたでも	1	129,000	実行委員会	対面実施	4年ぶりに開催することができたが、新型コロナウイルス感染症が完全収束していなかったため、縮小開催となった。具体的にはステージの出演時間にインターバルを設けたこと、一般飲食のバザールを募集しなかったことなど。	参加者数・利用者数・利用件数等	新型コロナウイルスの感染拡大状況を勘案し、コロナ禍以前の通常開催に近づけるようにする。	129,000	A	令和元年度以来の通常規模での開催を目標とする。	取組の継続	由木地域の町会自治会、3住民協議会が主体となり開催する。また、設営や警備、物品購入等の経費が全体的に値上がりしており、財政的に厳しい状況である。観客や参加者の安全を確保しつつ、経費節減と新規協賛の獲得に努める。	4,000	4,000	4,783	協働推進課 (学園都市文化ふれあい財団・フラワーフェスティバル由木祭典委員会)
86				#N/A		#N/A		八王子城跡まつり（令和3年度で事業廃止）																	
87	イベント等	家庭生活	019	学習成果の発表と学びの広がり	2-1	誰もが心豊かに暮らせる市民生活の推進	消費生活フェスティバル	食・環境・暮らし・安全安心・消費者被害対策などの消費生活に関する啓発 消費者団体相互の交流を図るとともに、消費者団体等と連携して、消費生活に関する情報を体験や遊びを通して消費者に提供する。	どなたでも	1	290	共催	対面実施	消費生活フェスティバルに合わせ、エシカル消費の啓発に向けた東京都との共催講座を開催した。	拡事大業等の再構築・充実・	アンケートの回答者の90%以上が高評価	95%	A	参加者の90%以上が高評価	取組の継続	【課題】消費者団体及び来場者数の増 【方向】消費者団体相互間の交流を図るとともに、広報・HP・SNS等の情報発信にも工夫を凝らし、消費生活センターの認知度を高める。	86	86	114	消費生活センター
88	イベント等	健康・スポーツ	019	学習成果の発表と学びの広がり	2-3	保健医療の充実	健康フェスタ・食育フェスタ	子どもから大人まで楽しみながら、健康や食育について学べる場と市民交流の場を提供する。 例年、5月第3日曜日を「市民健康の日」と定め、健康づくりや食育について、子どもから大人まで、楽しみながら、体験できる学びと市民交流の場を提供する。	どなたでも	1	10,989	共催	対面実施	令和5年度は新型コロナウイルスが5類に移行したこともあり、4年ぶりに通常規模で開催した。参加者も令和4年度より3000人程度増加した。また参加した方の94.1%がこのイベントが「健康を意識するきっかけづくりになった」と回答した。	件参加者数・利用者数・利用	来場者アンケートで「健康づくりのきっかけとなった」と回答する人の割合 90%以上	94%	A	来場者アンケートで「健康づくりのきっかけとなった」と回答する人の割合 90%以上	取組の継続	令和6年度は、会場をエスフォルタアリーナから東京たま未来メッセに変更して実施する。中心市街地での開催となることから、来場者数も昨年度より多く見込まれる中で、円滑に開催できるよう準備を行う。	2,062	2,053	2,730	保健総務課
89	イベント等	社会問題・市民生活に関するもの	019	学習成果の発表と学びの広がり	6-1	一人ひとりが考え、ともに守る環境	八王子環境フェスティバル	市民の環境に対する意識の高揚と自発的な活動の促進。 環境の保全についての関心と理解を深め、環境保全活動への参加意欲を高めることを目的とし、日々の学習成果を発表する機会を設け、市民の自発的な学習活動のきっかけづくりと、学びを通じた交流の場を提供する。	どなたでも	1	延べ約10,000人	実行委員会	対面実施	6月4日に東京たま未来メッセで実施した。	その他	1回開催	1回開催	A	1回開催	改善・見直しの実施	6月9日に東京たま未来メッセ・えきまえテラスにて開催する。	700	700	700	環境政策課 (八王子環境フェスティバル実行委員会)
90	イベント等	青少年育成・体験活動	020	日頃の成果の発揮と学ぶ意欲の醸成	3-3	学びを活かせる生涯学習の推進	こども将棋大会	日本の伝統文化である「将棋」に親しみ、大会を通じてコミュニケーションや礼儀作法の修得など、子どもたちの健全育成を図る。	子ども	1	123	委託	対面実施	令和2・3年度中止、令和4年度は定員を制限しての実施であったため、4年ぶりに通常開催となった。 小学生は多数の応募があり抽選となった。	等者参加者数・利用者数・件数利用・件数利用	参加者100人以上	参加者123人	A	参加者100人以上	取組の継続	中学生の応募が毎年少ないので、その年代にアピールする方法を工夫する。	503	492	545	学習支援課
91	イベント等	健康・スポーツ	020	日頃の成果の発揮と学ぶ意欲の醸成	3-3	学びを活かせる生涯学習の推進	市民スポーツ大会	スポーツにおける市民の日頃の練習の成果を発揮できる場を提供し、競技の普及、競技力の向上を図る。	どなたでも	86	14,460	委託	対面実施	新型コロナウイルス感染症が5類感染症に位置付けられたことを受け、総合開会式はコロナ禍以前と同規模で実施。大会運営の人員確保が難しく開催中止となった競技(2競技)はあったものの、実施競技数については、コロナ禍前とほぼ同数の30競技を開催した。	等者参加者数・利用者数・件数利用・件数利用	17,000人	14,460	A	17,000	取組の継続	目標値に近づけるよう、引き続き開催に関する周知を行う。	3,371	2,643	3,178	スポーツ振興課
92	イベント等	健康・スポーツ	020	日頃の成果の発揮と学ぶ意欲の醸成	3-3	学びを活かせる生涯学習の推進	市民レクリエーション大会	市民が日頃のレクリエーション活動の成果を発揮する場と、それらを観る機会を提供し、市民の生涯学習活動を支援する。	どなたでも	1	564人	委託	対面実施	今年度は、例年使用していた会場が改修工事により使用できなかったため、会場を変更して開催。8団体が出場した。	等者参加者数・利用者数・件数利用・件数利用	1,000人	564人	B	1,000	取組の継続	目標値に近づけるよう、引き続き開催に関する周知を行う。	743	541	716	スポーツ振興課
93	イベント等	健康・スポーツ	020	日頃の成果の発揮と学ぶ意欲の醸成	3-3	学びを活かせる生涯学習の推進	市民スポーツレクリエーション大会	スポーツ・レクリエーション活動における市民の日頃の練習の成果を発揮する場を提供し、市民の生涯学習活動を支援する。	どなたでも	66	2,267人	委託	対面実施	総合開会式、各競技を予定通り実施することができた。八王子発祥のネオテニス、親子で参加できるデイキャンプなど、八王子の特色を活かした種目をはじめ、13種目を実施した。	等者参加者数・利用者数・件数利用・件数利用	3,000人	2,267人	B	3,000人	取組の継続	目標値に近づけるよう、引き続き開催に関する周知を行う。	503	503	426	スポーツ振興課

【基本施策2】(番号50～107、57事業)

番号	種類	分野	生涯学習プラン基本施策・施策の展開	未来デザイン2040 都市像・基本施策	事業名	事業目的	令和5年度 実績							令和5年度の目標および評価				令和6年度目標値			令和5年度 予算 (千円)	令和5年度 決算 (千円)	令和6年度 予算 (千円)	令和6年度 担当課 (実施主体)
							対象者	回 数	参加者数(人)等	実施形態	実施方法	令和5年度の実施状況や昨年度との比較・変更点、参加者の声	指標 評価	令和5年度目標値	目標値に対する実績値	評価	令和6年度目標値	方向性	令和6年度の課題と方向 廃止・休止の場合はその理由					
94	イベント等	健康・スポーツ	020 日頃の成果の発揮と学び意欲の醸成	3-3	学びを活かせる生涯学習の推進	全関東八王子夢街道駅伝競走大会	高齢者及び障害のある人を対象とし、健康の増進、生きがいの高揚、社会参加の促進、参加者間の交流などを支援する。 公道がコースとなる駅伝では日本最大級の大会として、八王子市の魅力を市内外へ発信し、スポーツの振興と地域の活性化を図る。	どなたでも	1	1,904	実行委員会	対面実施	閉会式等をコロナ禍前の規模に戻すため、本部会場の変更や、積極的な周知を実施した。目標の参加者数には届かなかったが、前年度より大幅に増加した。	用 参 件 加 数 者 数 ・ 利 用 者 数 ・ 利	2,000人	1,904	A	2,000人	取組の継続	参加者だけでなく、多くの市民の方が楽しみにしている恒例の大会であるため、安全面に配慮しつつ、関係者・関係団体と調整していく。	22,784	22,784	27,786	スポーツ振興課
95	講座・教室	教養的なもの	021 高校生・大学生等と地域がつながる、地域でいかす	3-3	学びを活かせる生涯学習の推進	大学生等が参画する生涯学習センター講座の実施	大学生等の知識や大学等の有する設備を活用した講座を地域の大学等と協働で実施し、市民の学習機会の一層の充実を図る。	若者	3	32	市単独	対面実施	東京工科大学との共催で「夏休みプログラミング講座」を実施。学生に助手を依頼し、子どもたちにプログラミングを体験する機会を提供した。	参 加 者 の 満 足 度	満足度85%以上	87%	A	満足度85%以上	取組の継続	引き続き大学生等が参画する講座を実施し、市民の学習機会の一層の充実を図っていく。	—	—	—	学習支援課
96	イベント等	社会貢献活動	021 高校生・大学生等と地域がつながる、地域でいかす	3-3	学びを活かせる生涯学習の推進	ビッグウェスト学生フェスティバル	八王子市学園都市推進会議主催で学生フェスティバル委員会により開催し、学生同士や市民の人たちとの交流を図る。	どなたでも	1	学生282人、来場者700人	補助	対面実施	例年通りの内容で開催した。コロナ禍の影響で活動ができなかった団体が活動再開した。	普 及 ・ 啓 発 等	新規参加団体1団体以上	新規参加団体2団体	A	新規参加団体1団体以上	取組の継続	例年通りの内容で開催する。1イベント1大学の状況にあるものは、複数大学参加へと改善を図りたい。	2,114	1,970	2,100	学園都市文化課(学園都市文化ふれあい財団・大学コンソーシアム八王子)
97	イベント等	社会貢献活動	021 高校生・大学生等と地域がつながる、地域でいかす	3-3	学びを活かせる生涯学習の推進	★学生天国★	学生同士及び日頃学生と関りが少ない市民の方々との交流を図る。 大学コンソーシアム八王子加盟25大学等の学生で構成する学生委員会により開催し、学生同士や市民の人たちとの交流を図る。	どなたでも	1	参加団体数(18大学等40団体)、来場者数15,500人	補助	対面実施	従来の八王子駅北口西放射線および隣接する公園の他に、学園都市センターを会場に追加したことにより、屋外対応ができない団体が参加した。	普 及 ・ 啓 発 等	参加団体数の増(22団体以上)	40団体	A	40団体の参加	取組の継続	えきまえテラスを会場に加えることにより、より多彩な団体の参加が期待できる。	2,588	2,583	2,588	学園都市文化課(学園都市文化ふれあい財団・大学コンソーシアム八王子)
98	その他	社会問題・市民生活に関するもの	021 高校生・大学生等と地域がつながる、地域でいかす	3-3	学びを活かせる生涯学習の推進	学生企画事業への支援	大学コンソーシアム八王子加盟25大学等の学生が、八王子地域を舞台にイベント等を企画・運営・実施する際に、支援する。	大学コンソーシアム八王子に加盟する大学等に在籍する5名以上の学生	1	7大学等9団体	補助	対面実施	昨年度同様の報告会を実施した。	等 事 業 の 再 構 築 ・ 充 実 ・ 拡 大	前年度採択団体以外からの応募2件以上	6件	A	指定課題での採択件数を1件以上とする。	取組の継続	指定課題の内容を見直した。指定課題へのエントリーと採択に向けた情報周知が課題となる。	1,794	1,058	2,094	学園都市文化課(学園都市文化ふれあい財団・大学コンソーシアム八王子)
99	イベント等	教養的なもの	021 高校生・大学生等と地域がつながる、地域でいかす	3-3	学びを活かせる生涯学習の推進	学生発表会	大学コンソーシアム八王子加盟25大学等の学生が日頃の研究成果を市民・企業・市政などに向けて発表する。	大学コンソーシアム八王子の加盟にする大学等の学生	1	303件	補助	対面実施	参加者の増加により、会場を2会場とした。	拡 事 大 業 等 の 再 構 築 ・ 充 実 ・	・発表件数の増(R4年度：280件) ・円滑に運営できる体制の構築	303件	A	1会場でR5年度同様の規模で開催できるような体制を整え、実施する。	取組の継続	1会場でR5年度の1.5倍程度の発表に対応できる体制を構築することが必要である。	1,995	1,570	1,456	学園都市文化課(学園都市文化ふれあい財団・大学コンソーシアム八王子)
100	イベント等	教養的なもの	021 高校生・大学生等と地域がつながる、地域でいかす	3-3	学びを活かせる生涯学習の推進	八王子学生CMコンテスト	学園都市八王子の特色を活かし、学生ならではの視点で八王子市の魅力を動画CMにした作品を募集し、コンテストを開催する。	学生(大学院・大学・短大・高専・専門学校)	1	40件(15大学等他1校)	補助	対面実施	上映会では、作品制作者が作品の見どころを紹介するなど、学生の主体性を高める形式に変更した。	利 参 用 加 件 者 数 等 ・ 利 用 者 数 ・	応募する加盟校数10校以上	加盟校13校	A	応募する加盟校数10校以上	取組の継続	参加者の増加を目的として開催していたワークショップの開催を中止した。この影響を最小限度に留め、横暴する加盟校数を昨年同様に確保することが求められる。	2,259	2,367	2,084	学園都市文化課(学園都市文化ふれあい財団・大学コンソーシアム八王子)

【基本施策2】(番号50～107、57事業)

番号	種類	分野	生涯学習プラン基本施策・施策の展開	未来デザイン2040 都市像・基本施策	事業名	事業目的	令和5年度 実績						令和5年度の目標および評価				令和6年度目標値			令和5年度 予算 (千円)	令和5年度 決算 (千円)	令和6年度 予算 (千円)	令和6年度 担当課 (実施主体)	
							対象者	回 数	参加者数(人)等	実施 形態	実施 方法	令和5年度の実施状況や昨年度との比較・変更点、参加者の声	指 評 標 価	令和5年度目 標値	目標値に 対する 実績値	評 価	令和6年度目標値	方向性	令和6年度の 課題と方向 廃止・休止の場合はその理由					
101	イベント等	青少年育成・体験活動	021	高校生・大学生等と地域がつながる、地域でいかす	3-3	学びを活かせる生涯学習の推進	二十歳を祝う会 大人としての責任の自覚を促すとともに、新しく成人となった若者を祝い、励ます。 成人式の開催に当たって、大学生等を中心とした実行委員会を立ち上げて企画運営に参画するとともに、高校生がボランティアとして運営に参画することにより、式典を協力してつくりあげる社会経験の場とする。	成年	2	3,499	共催	どちらも実施	コロナ禍以降は開催回数を3～4回に分け、時間を短縮して行っていたが、令和5年度はコロナ禍以前の2回開催とし、時間も通常通りの1時間に戻した。会場開催に加え、式典の様子を収録した映像を後日市公式YouTubeチャンネルに掲載し、来場者の参加の選択肢を増やした。	参加者の満足度	多世代・地域と協働して二十歳を祝う会を開催し、対象者に社会人としての自覚を促す。	実行委員やボランティアとともに二十歳を祝う会を開催することができた。	A	多世代・地域と協働して二十歳を祝う会を開催し、対象者に社会人としての自覚を促す。	取組の継続	成年年齢の引き下げにより、「成人式」に代わり新たに実施となった「二十歳を祝う会」の定着を図る。	3,068	2,259	3,101	学習支援課
102	イベント等	趣味的なもの	021	高校生・大学生等と地域がつながる、地域でいかす	3-3	学びを活かせる生涯学習の推進	八王子市内高等学校吹奏楽フェスティバル 音楽教育の振興と市民文化の向上を図るとともに、市内高等学校の演奏力の向上をめざす。 市内高等学校吹奏楽フェスティバルを高校生による運営とすることで、青少年の音楽活動の成果発表の場を確保するとともに、イベント開催に参画する機会を提供する。	高校生	1	市内高校参加：9校 来場者数：2,000名	共催	対面実施	令和5年度は定期考査等の日程都合により参加校が減少した。また、引き続き株式会社ジェイコムの協力により特別番組の放映を行い、より多くの市民の関心を集めることができた。	件数 参加者数・利用者数・利用者数・利用	3,200名	2,000名	B	2,000名	取組の継続	共催団体・協力団体と連携をとりながら、青少年の音楽活動の成果発表の場を提供していく。	459	304	459	学習支援課
103	イベント等	青少年育成・体験活動	021	高校生・大学生等と地域がつながる、地域でいかす	3-1	全ての子どもが健やかに育つ地域づくり	児童館・子どもシティ イベントの企画準備運営の主軸を中高生が行うことで、中高生に地域のイベントプロデューサー的な体験を与える。単に中高生の満足のためだけではなく、地域住民との交流・協力を図っていく。また、小学生には就業体験を与える。 子どもたちが、社会性や協調性を育む機会に、学生と地域が参加し、交流活動を行う。	子ども	6	2,122	市単独	対面実施	昨年同様に実施した。	事業の再構築・充実・拡大等	6回開催	6回	A	6回開催	取組の継続	令和5年11月に児童館は子ども・若者育成支援センターとなり、一部事業を整理したが、本件は同センターがない地域の子どものための体験機会の提供や地域団体との関係づくりに有意義なため、継続して実施する。	771	412	624	青少年若者課(子ども・若者育成支援センター)
104	講座・教室	教養的なもの	022	若者の社会的自立に向けた、学びによる支援	3-1	全ての子どもが健やかに育つ地域づくり	支援を必要とする若者の学び直しの場の提供 ひきこもりや働くことへの不安などを抱える若者に対する、学びの継続や学び直しの機会を提供し、社会的自立の支援を行う。 ひきこもりや働くことへの不安などを抱える若者に対する、学びの継続や学び直しに向けた活動の場として、主に対人関係に慣れるためのプログラム活動を提供する。	若者	140	869	委託	対面実施	レクリエーション大会、室内ストレッチ、遊びを通した対人訓練メニュー等	プログラム活動回数	プログラム活動120回開催	140	A	プログラム130回開催	取組の継続	運営事業者の強みを活かし、対人面で改善が期待できる多様なプログラムを継続して実施していく。	28,759	28,759	28,759	青少年若者課
105	その他	社会貢献活動	022	若者の社会的自立に向けた、学びによる支援	3-1	全ての子どもが健やかに育つ地域づくり	若者が参加できるボランティア活動の充実 ひきこもりや働くことへの不安などを抱える若者に対する地域での活動機会を提供し、社会的自立の支援を行う。 地域貢献につながる活動メニューを企画・立案し、若者が参加できるボランティア活動を提供する。また、地域のボランティア活動の情報を広く提供する。	若者	32	129	委託	対面実施	昨年度実施した東町・浅川清掃ボランティア、地域アートボランティア及び農園整備ボランティアに加え、こども食堂ボランティアや「1坪パン祭り」の職場体験を実施した。	普及・啓発	地域での活動15回	21	A	地域での活動20回	取組の継続	地域の受け入れ先との調整、当日の移動手段の確保など、手続きが煩雑となるという課題はあるが、昨年度に構築した地域との関係を継続し、可能な範囲で実施していく。	0	0	0	青少年若者課
106	イベント等	趣味的なもの	022	若者の社会的自立に向けた、学びによる支援	3-3	学びを活かせる生涯学習の推進	クリエイティブステージ 日ごろの音楽活動の成果発表の場として、40歳以下の団体・個人を対象にステージを提供するとともに、出演者・来場者間の交流を図る。	若者	1	15組157名	市単独	対面実施	15団体157名が出演し、317名が来館した。(令和4年度は8団体107名が出演し、323名が来館した。)	数 参加者数・利用者数・利用者数・数利用者	10～15団体の参加	15団体	A	10～15団体の参加	取組の継続	より多くの団体・個人に音楽活動の成果発表の場を提供していく。	0	0	0	学習支援課
107	講座・教室	教養的なもの	022	若者の社会的自立に向けた、学びによる支援	2-1	誰もが心豊かに暮らせる市民生活の推進	若者の視野が広がる教育・普及啓発 若者にとって生きるヒントが得られるような学びの機会を充実する。	若者	10	230	市単独	対面実施	「体と息と心の調え方を学ぶ～はじめての坐禅」他9講座を実施し、生きるヒントが得られるような学びの機会を提供した。 230名参加。	実 事・業 拡 大 等 再 構 築 ・ 充	10講座	10講座	A	10講座	取組の継続	より多くの若者が参加し、生きるヒントが得られるような内容の講座を実施していく。	—	—	—	学習支援課

【基本施策3】(番号108～129、21事業)

番号	種類	分野	生涯学習プラン基本施策・施策の展開		未来デザイン2040 都市像・基本施策		事業名	事業目的	令和5年度 実績						令和5年度の目標および評価				令和6年度目標値			令和5年度 予算 (千円)	令和5年度 決算 (千円)	令和6年度 予算 (千円)	令和6年度 担当課 (実施主体)
									対象者	回数	参加者数(人)等	実施形態	実施方法	令和5年度の実施状況や昨年度との比較・変更点、参加者の声	指標値	令和5年度目標値	目標値に対する実績値	評価	令和6年度目標値	方向性	令和6年度の課題と方向 廃止・休止の場合はその理由				
			NO	施策名	No	基本施策																			
108	講座・教室	趣味的なもの	023	学びへの新たな参加を促す取組	3-3	学びを活かせる生涯学習の推進	生涯学習しえんねっと講座	学習支援委員が合同講座「しえんねっと講座」を開催することにより、市民に生涯学習活動のきっかけづくりの場を提供し、新たな参加を促す。	どなたでも	1	32人	共催	どちらも実施	3年ぶりに「しえんねっと講座」を開催。「親子で英語deカフェタイム」「ChatGPT等を活用するスマホと旅の楽しみ方」など、学習支援委員の得意分野を活かした6講座を実施し、32名の参加があった。	度参加者の満足	合同講座の参加者満足度80%以上	93.75%	A	合同講座の参加者満足度80%以上	取組の継続	学習支援委員の得意分野を活かした「しえんねっと講座」を引き続き企画・開催し、生涯学習活動のきっかけづくりの場を提供する。	—	—	—	学習支援課
109	情報提供・環境整備	教養的なもの	024	生涯学習の相談体制の充実	3-3	学びを活かせる生涯学習の推進	生涯学習相談	生涯学習活動のきっかけづくり及び支援 生涯学習情報を提供するほか、サークル結成・運営などの学習要望に対して助言する。	どなたでも	随時	-	市単独	—	窓口及び電話にて学習相談を実施し、内容に応じた生涯学習情報を提供した。	その他	相談体制の構築	開館日の窓口において随時実施	A	相談体制の構築	取組の継続	開館日において引き続き生涯学習相談を実施していく。	0	0	0	学習支援課
110	情報提供・環境整備	教養的なもの	024	生涯学習の相談体制の充実	3-3	学びを活かせる生涯学習の推進	学習支援委員による相談	生涯学習活動のきっかけづくり及び支援 青少年活動の応援、国際交流や伝統文化の普及、家庭教育、サークル・団体活動のサポート等、学習支援委員がそれぞれの得意分野を活かし、生涯学習活動に関する相談を受け、助言や情報提供を行う。	どなたでも	随時	-	市単独	どちらも実施	対面及びオンラインツールを用いた会議や講座の開催等さまざまな形で学習支援委員の得意分野を活かした学習支援を行った。	大 事 等 業 の 再 構 築 ・ 充 実 ・ 拡	学習相談の機会を増やす	対面に加えてオンラインツールも活用し、市民の学習活動を支援した。	A	学習相談の機会を増やす	取組の継続	学習支援委員と連携をとりながら、さまざまな形で市民の生涯学習活動を支援していく。	—	—	—	学習支援課
111	情報提供・環境整備	教養的なもの	025	生涯学習機会の情報の発信	3-3	学びを活かせる生涯学習の推進	SNSによる生涯学習講座・イベント情報の発信	生涯学習活動のきっかけづくり及び支援 講座・イベント・フリースペースの情報について、FacebookとTwitterを通じて発信する。	どなたでも	随時	-	市単独	—	講座やフリースペースの開催状況について随時情報発信した。 (Xフォロー数 1,511人)	その他	発信体制の構築	講座やフリースペースの開催状況を中心に、情報発信を行った。	A	発信体制の構築	取組の継続	講座やフリースペースの開催状況について随時情報を発信する。	0	0	0	学習支援課
112	情報提供・環境整備	青少年育成・体験活動	025	生涯学習機会の情報の発信	3-3	学びを活かせる生涯学習の推進	イベントカレンダーによる情報発信	小中学生向けのイベント等の情報提供を分かりやすく行うことで、学習活動の場を広げる。 夏休み期間中に実施する小学生向けの事業を集約した小冊子「夏休みイベントカレンダー」など、学習情報を一元化して市民に分かりやすく情報提供する。	子ども	1	発行部数:750部、データ提供	市単独	—	従来は市民センターや事務所等の市内施設に加え、各小中学校に家庭数分の冊子を配布していたが、令和5年度は冊子配布ではなくデータ提供を主とした。	普及・啓発等	分かりやすい情報の提供	紙面にイラスト等を使用し、分かりやすく情報を提供できた。	A	分かりやすい情報の提供	取組の継続	市内児童に分かりやすい情報の提供を行い、体験機会の充実を図る。	—	—	—	学習支援課
113				#N/A		#N/A																			
広報「はちおうじの教育」の発行（令和4年度で事業廃止）																									
114	情報提供・環境整備	社会貢献活動	025	生涯学習機会の情報の発信	1-1	市民自治の推進	はちコミねっと	市民活動の情報発信及び、活動内容の周知のために実施する。	どなたでも	通年	297団体	指定管理者	どちらも実施	一昨年の11月にリニューアルを行い、登録更新を行っているが、新規登録も多数あり、結果的には目標の18%増となった。	数・参加者数・利用者数・数利用者	250	297団体	A	登録団体数300団体	取組の継続	引き続きサイトのPRを積極的にを行い新規登録団体の増加を図る。	1,463	1,463	1,463	協働推進課 (市民活動支援センター)
115	情報提供・環境整備	教養的なもの	025	生涯学習機会の情報の発信	1-1	市民自治の推進	市民センターだよりの発行	地域住民協議会が発行する情報誌を活用し、身近な地域情報を発信する。	どなたでも	38	208,860	補助	対面実施	コロナ禍前に戻り令和4年度は計画通り発行することが出来た。	等事業の再構築・充実・拡大	紙面の充実	各住民協議会が内容を工夫し、カラーを多用した見やすい紙面を作成した	A	紙面の充実	取組の継続	引き続き住民協議会による情報収集など紙面の充実に努め、身近な地域情報の発信を行う。	1,418	1,277	1,418	協働推進課 (住民協議会)

【基本施策3】(番号108～129、21事業)

番号	種類	分野	生涯学習プラン基本施策・施策の展開	未来デザイン2040 都市像・基本施策	事業名	事業目的	令和5年度 実績							令和5年度の目標および評価				令和6年度目標値				令和5年度 予算 (千円)	令和5年度 決算 (千円)	令和6年度 予算 (千円)	令和6年度 担当課 (実施主体)
							対象者	回数	参加者数(人)等	実施形態	実施方法	令和5年度の実施状況や昨年度との比較・変更点、参加者の声	指標値	令和5年度目標値	目標値に対する実績値	評価	令和6年度目標値	方向性	令和6年度の課題と方向 廃止・休止の場合はその理由						
116	情報提供・環境整備	家庭生活	025	生涯学習機会の情報の発信	2-1	誰もが心豊かに暮らせる市民生活の推進	消費生活情報の提供	消費者被害を未然に防止するため消費者被害に関する注意喚起と消費生活に関する情報提供を行う。 消費生活ニュース、くらしのレポート、広報消費生活特集号等を発行し、消費生活に関わる情報提供を行う。	どなたでも	①消費生活ニュース…12回 ②くらしのレポート…4回 ③広報特集号…1回	①6,580部 ②2,000部 ③287,385部	市単独	—	毎月発行の消費生活ニュースをSNSで発信する際に、より効果的な伝達手段としてリッチテキストを活用した。 また、広報特集号ではエシカル消費をテーマにして、具体的な取組みの紹介をおこなった。	普及・啓発等	タイムリーな情報を関係団体と共同で提供する	市民や関係機関等へのタイムリーな発信に努めた	A	引き続き、市民や関係機関等へのタイムリーな発信に努めていく	取組の継続	【課題】消費生活に関する情報を多くの市民に効果的に伝え、一人ひとりが消費者市民社会の実現に向けての意識を持つこと。 【方向】広報特集号については、都の交付金を活用してきたが、令和5年度で交付金事業が終了したため、広報の通常号にテーマを組んで周知活動を行う。	1,004	801	0	消費生活センター
117	情報整備・環境整備	社会問題に関するもの	025	生涯学習機会の情報の発信	2-2	誰もが生きがいを持ち安心できる地域づくり	外国人向け情報誌「Ginkgo」の発行	外国人のニーズに合わせた行政情報の提供の充実を目指し、年6回、多言語で、外国人向け情報誌を発行する。	外国人	6	延べ12,864部	市単独	—	昨年度と同じ内容ばかりではなく、情報誌発行時点でのタイムリーな情報の発信に努めた。	充事業・の拡再大構築等	掲載内容の充実を図るため、記事の収集に努める。	内容の充実に努めた。	A	掲載内容の充実を図るため、記事の収集に努める。	取組の継続	必要に応じて、発言言語の見直し等を検討する。	491	240	491	多文化共生推進課
118	情報整備・環境整備	社会問題に関するもの	025	生涯学習機会の情報の発信	2-1	誰もが心豊かに暮らせる市民生活の推進	男女共同参画情報紙「ばれっと」の発行	男女共同参画に関する意識啓発 男女共同参画に関する認識や理解を深めるための情報を提供する。	どなたでも	1回	288,665部	市単独	—	企業関係者を対象に、企業における女性登用をテーマに行った、講演会&トークイベントについて掲載し、女性活躍の必要性などに関する認識や理解を深める情報を提供した。	普及・啓発等	幅広い世代に関心を持ってもらえる紙面づくりを行う。	女性活躍の必要性などに関する認識や理解を深めた。	A	目標を達成するための手法を考え、実施する。	廃止・休止	男女共同参画に関する意識啓発、男女共同参画に関する認識や理解を深めるための情報の提供について、他の方法を検討する。	1,224	721	0	男女共同参画課
119	情報提供・環境整備	教養的なもの	026	生涯学習環境の充実と活動の場の提供	3-3	学びを活かせる生涯学習の推進	生涯学習センター	生涯学習活動の支援 地域住民にとって身近な学習拠点であるほか、交流の場、コミュニティ形成の場として、学習ニーズや地域の実情に応じた学習機会を提供する。	どなたでも	-	194,475人	市単独	対面実施	生涯学習センター3館を運営し、講座やフリースペースを実施した。	数参加者用数件・数利用者	利用者数180,000人以上	194,475人	A	利用者数200,000人以上	取組の継続	様々な形で市民に学習機会を提供していく。	—	—	—	学習支援課
120	情報提供・環境整備	教養的なもの	026	生涯学習環境の充実と活動の場の提供	3-3	学びを活かせる生涯学習の推進	学習室の貸し出し	団体・個人に学習室等を貸し出し、市民の自発的な生涯学習活動を支援する。	どなたでも	19,640	-	市単独	対面実施	生涯学習センター3館を運営し、学習室等を貸し出すことにより市民の学習活動を支援した。	数参加者用数件・数利用者	利用件数19,000件以上	19,640件	A	利用件数19,000件以上	取組の継続	学習室等を貸し出し、市民の学習活動を支援していく。	—	—	—	学習支援課
121	情報提供・環境整備	教養的なもの	026	生涯学習環境の充実と活動の場の提供	3-3	学びを活かせる生涯学習の推進	フリースペース	生涯学習活動の支援、施設の有効活用 空き学習室を自習スペースとして開放し、学生の自主的な学習を支援するとともに、若い世代の施設利用を促進する。	若者	3館合計983日	21,538人	市単独	対面実施	3館合計で983日実施し、延べ21,538名の利用があった。	数参加者用数件・数利用者	土・日・祝、平日夜間、学校長期休業期間に実施	3館合計で983日実施	A	土・日・祝、平日夜間、学校長期休業期間に実施	取組の継続	引き続きフリースペースを実施し、学生の自主的な学習を支援していく。	0	0	0	学習支援課
122	その他	教養的なもの	026	生涯学習環境の充実と活動の場の提供	3-3	学びを活かせる生涯学習の推進	自習スペースの開放	自主的な学習を支援するとともに、図書館利用を促進する。 中央図書館視聴覚ホールを未使用時に自習スペースとして開放する。	どなたでも	306日	14,481人	市単独	—	概ね開館日の95%の日数を自習室として開放した。コロナ禍もあけ、利用が増えてきた中で、席数を増やすとともに、土日等の混雑時に他の空き会議室を転用することで需要に応えた。	等者参加者利数利用・件数利用	前年度(13,982人)を上回る利用者数	14,481人	A	前年度(14,481人)を上回る利用者数	取組の継続	引き続き実施し、市民の生涯学習活動を支援していく。	—	—	—	図書館課
123	その他	教養的なもの	026	生涯学習環境の充実と活動の場の提供	3-3	学びを活かせる生涯学習の推進	地区図書室の図書館化	身近な読書環境を整備し、市民が読書に親しむ基盤を強化にする。 身近な読書環境の整備のため、地区図書室を図書館として整備する。	どなたでも	—	—	市単独	—	現地及び地区図書室連絡会にて間取りを実施した。	その他	各地区図書室の聞き取り	現地及び地区図書室連絡会にて間取りを実施	A	図書館の施設適正化方針での整理	改善・見直しの実施	利用者の低減や地域の担い手の不足、DXの推進などを踏まえ、図書館の施設適正化方針の中で整理していく。	—	—	—	図書館課
124	情報提供・環境整備	教養的なもの	026	生涯学習環境の充実と活動の場の提供	1-1	市民自治の推進	八王子駅南口集いの拠点整備	学び・交流・防災の3つの機能を備えたサードプレイスとなる複合機能施設の整備 八王子医療刑務所跡地に整備する公園、歴史・郷土ミュージアム(新郷土資料館)とともに、学習・交流機能を持つ交流スペースや図書館機能を持つ憩いライブラリを整備する。	—	—	—	共催	—	R4に引き続き、開館に向けてPFI事業者と協議	その他	PFI事業者と協議	PFI事業者と協議	A	PFI事業者と協議	取組の継続	引き続き、開館に向けてPFI事業者と協議	—	—	—	集いの拠点整備課

【基本施策3】(番号108～129、21事業)

番号	種類	分野	生涯学習プラン基本施策・施策の展開	未来デザイン2040 都市像・基本施策		事業名	事業目的	令和5年度 実績						令和5年度の目標および評価				令和6年度目標値			令和5年度 予算 (千円)	令和5年度 決算 (千円)	令和6年度 予算 (千円)	令和6年度 担当課 (実施主体)
								対象者	回数	参加者数(人)等	実施形態	実施方法	令和5年度の実施状況や昨年度との比較・変更点、参加者の声	指標 標価	令和5年度目標値	目標値に対する実績値	評価	令和6年度目標値	方向性	令和6年度の課題と方向 廃止・休止の場合はその理由				
125	その他	社会問題・市民生活に関するもの	026生涯学習環境の充実と活動の場の提供	3-1	全ての子どもが健やかに育つ地域づくり	若者の活動拠点づくり	若者が地域で生き生きと活躍できる場を提供し、社会的な自立に向けた支援を行う。 既存施設にあり方の見直しにより高校生や大学生などをはじめとする若者の活動の場としての機能を持たせるなど、生き生きと活躍できる若者の拠点づくりを進める。	若者	通年	1,893	委託	対面実施	若者総合相談センターが企画した清掃ボランティアなどの地域でのプログラム活動を前年度より多く実施した。	その他	若者総合相談センターが企画する地域でのプログラム活動を充実させる。	若者総合相談センターでサードプレイスを継続的に実施した。	A	10歳代が参加しやすいプログラム活動等を行う。	取組の継続	課題を抱える若者の早期発見と早期対応に向けて10歳代のニーズに合わせたプログラム活動やフリースペースの運用を実施予定。	0	0	0	青少年若者課
126	その他	社会問題・市民生活に関するもの	027誰もが生涯学習へ参加しやすい環境づくり	2-1	誰もが心豊かに暮らせる市民生活の推進	施設内のサイン計画改善	障害があることの社会的障壁の排除 言語や障害に左右されず、施設内を不自由なく使用できるように表示を改善する。	どなたでも	—	—	市単独	—	昨年度同様、いちよう祭り等のイベントで「障害のある人を理解するためのガイドブック」等を配布し、障害者の日常生活の困難を紹介することで、誰もが利用しやすい施設の案内表示を見直すきっかけとなるよう、意識啓発を行った。	その他	庁内関連施設だけでなく、八王子にある民間企業へも周知啓発を進める	いちよう祭り等のイベントで、来場者へ啓発冊子等を配布した	A	庁内関連施設だけでなく、八王子にある民間企業へも周知啓発を進める	取組の継続	障害のある人もない人も共に安心して暮らせる八王子づくり条例の周知啓発をチラシ等で続けていく。	—	-	-	障害者福祉課
127	情報提供・環境整備	社会問題・市民生活に関するもの	027誰もが生涯学習へ参加しやすい環境づくり	2-1	誰もが心豊かに暮らせる市民生活の推進	学習支援のための託児	子育て中の市民等の学習支援として、満1歳～未就学児の託児サービスを提供し、特に女性の社会参画の促進を図る。	どなたでも	129回	利用保護者182人	市単独	対面実施	子育て中の市民等の学習活動の支援を行った。	参加者数・利用者数・利用件数等	利用保護者147名	利用保護者182人	A	利用保護者182人	取組の継続	市民等のニーズを踏まえ、より学習機会が確保できるようなサービスを提供するための手法を検討し実施する。	3,527	3,554	4,115	男女共同参画課
128	その他	社会問題・市民生活に関するもの	027誰もが生涯学習へ参加しやすい環境づくり	2-1	誰もが心豊かに暮らせる市民生活の推進	障害者の参加を促す環境整備	障害のある方の社会的弱者としての配慮 障害者が講座等への参加に必要な介助者や手話通訳者の受講料を無料とするほか、車いす使用者用の机や拡大資料を提供し、障害者が参加しやすい環境を整備する。	どなたでも	—	—	市単独	—	昨年度同様、いちよう祭り等のイベントで「障害のある人を理解するためのガイドブック」等を配布し、障害者への合理的配慮の好事例集を紹介することで、障害者が参加しやすい環境整備の改善のきっかけとなるよう、意識啓発を行った。	その他	庁内関連施設だけでなく、八王子にある民間企業へも周知啓発を進める	いちよう祭り等のイベントで、来場者へ啓発冊子等を配布した	A	庁内関連施設だけでなく、八王子にある民間企業へも周知啓発を進める	取組の継続	障害のある人もない人も共に安心して暮らせる八王子づくり条例の周知啓発をチラシ等で続けていく。	—	-	-	障害者福祉課
129	その他	情報端末・インターネットに関するもの	028ICTを活用した生涯学習機会の充実	3-3	学びを活かせる生涯学習の推進	ICTの活用	電子書籍の拡充やホームページの充実等、非来館型サービスの充実により「いつでも、どこでも、だれでも」読書に親しめる環境づくりや、本市のDX施策の推進を目指す。 図書館における、電子書籍の拡充、ホームページ等による情報発信の充実を図る。	どなたでも	—	【電子書籍貸出数】52,390回 【タイトル数】16,582点(うち読み放題コンテンツ(書籍)399点) 【閲覧数】299,600回	市単独	オンライン実施	電子書籍サービスを継続し、身近な読書環境の整備に努めた。4月より図書館・学校図書館システムの連携を活用し、児童生徒の学校図書館IDで電子書籍を借りられる環境を整備した。複数利用者が同時に利用できる電子書籍を導入した。	等参加者数・利用者数・利用件数	【電子書籍貸出数】35,518回 【タイトル数】16,261点 閲覧数118,757点を超える	【電子書籍貸出数】52,390回 【タイトル数】16,582点(うち読み放題コンテンツ(書籍)399点) 【閲覧数】299,600回	A	令和5年度の【電子書籍貸出数】52,390回 【閲覧数】299,600回を超える。	取組の継続	ホームページ等、また、学校図書館との連携を通じ、電子書籍利用のPRに努め、利用促進を図る。	7,000	7,733	7,000	図書館課